

富谷市ひきこもりに関する 生活状況アンケート

－調査結果報告書－

令和7年2月

富谷市 保健福祉部 地域福祉課

<目 次>

I	調査概要	1
II	ひきこもり当事者の概要	4
1	ひきこもり状態にある方の有無について	5
1-1	ひきこもり状態にある方の有無	5
2	ひきこもり当事者について	7
2-1	本人の年齢	7
2-2	本人の性別	7
2-3	アンケートの回答者	9
2-4	回答者（家族）の年齢	9
2-5	回答者（家族）の性別	9
2-6	本人と同居している家族	10
2-7	ひきこもり期間	11
2-8	現在の状態になったきっかけ	12
III	調査結果	15
1	外出状況について	15
1-1	外出状況	15
1-2	外出の頻度	17
1-3	外出しやすい時間帯	20
2	コミュニケーションについて	22
2-1	本人のコミュニケーションをとる際の状況	22
3	不安や困りごとについて	26
3-1	本人や家族の不安や困りごと	26
4	相談状況について	31
4-1	相談機関への相談状況	31
4-2	相談先	35
4-3	相談したい（支援してもらいたい）内容	39
4-4	相談していない、したくない理由	40
5	ひきこもり支援について	43
5-1	どのようなサポートがあると良いか	43
5-2	富谷市のひきこもり支援の認知	48
5-3	本人や家族へ届きやすいと考える情報提供の方法	52
5-4	ひきこもり支援に関する意見	60
IV	使用した調査票	62

I 調査概要

1 調査の目的

市内全ての世帯を対象に、ひきこもり状態にある方の支援ニーズを把握し、今後の支援・施策展開へ活用することを目的として調査を行いました。

※ここでいうひきこもり状態の方とは、仕事や学校にいかず、かつ家族以外の方との交流をほとんどせずに6か月以上続けて家庭にとどまっている状態をいい、市内在住の15～64歳を対象にしています

2 調査期間

令和6年8月30日（金）～令和6年9月30日（月）

※10月11日（金）回収分までを集計に含めています

3 調査対象

Q0：市内全ての世帯（「Q0 ひきこもり状態の方がいるか」で「いいえ」と回答した方は以降集計対象外とする）

Q1以降：「Q0 ひきこもり状態の方がいるか」で「はい」と回答した方

4 調査方法

郵送配布／郵送及びWEB回答を併用し回収

5 回答状況

配布数①	総回答数		有効回答数②		有効回答率 ②／①	
	紙	WEB	紙	WEB	紙	WEB
20,589※	3,786	3,159	3,757	3,129	18.2%	15.2%
	合計		合計		合計	
	6,945		6,886		33.4%	

※令和6年7月10日時点 富谷市全世帯数

◆ 回答のあった方の行政区

行政区	配布数	回収率	回答数	回答率
熊谷	68	32.4	22	0.3
町上	428	25.5	109	1.6
町中	71	31.0	22	0.3
町下	366	28.7	105	1.5
一ノ関	39	35.9	14	0.2
二ノ関	54	33.3	18	0.3
三ノ関	166	30.7	51	0.7
志戸田	105	27.6	29	0.4
穀田	28	57.1	16	0.2
原	37	35.1	13	0.2
大童	30	50.0	15	0.2
今泉	54	24.1	13	0.2
大亀	29	20.7	6	0.1
石横	43	39.5	17	0.2
明石	53	30.2	16	0.2
西成田	72	33.3	24	0.3
清水仲	223	21.5	48	0.7
太子堂（一丁目）	329	29.5	97	1.4
太子堂（二丁目）	256	32.0	82	1.2
ひより台一丁目	752	28.6	215	3.1
ひより台二丁目	507	25.4	129	1.9
グリーンヒル	170	40.6	69	1.0
とちの木（一丁目）	201	31.3	63	0.9
とちの木（二丁目）	42	28.6	12	0.2
とちの木（三丁目）	262	29.8	78	1.1
富ヶ丘南部（一丁目）	361	26.6	96	1.4
富ヶ丘南部（二丁目）	643	28.5	183	2.7
富ヶ丘北部（三丁目）	452	35.8	162	2.4
富ヶ丘北部（四丁目）	440	34.1	150	2.2
鷹乃杜（一丁目）	361	32.4	117	1.7
鷹乃杜（二丁目）	197	32.5	64	0.9
鷹乃杜（三丁目）	224	29.5	66	1.0
鷹乃杜（四丁目）	357	20.7	74	1.1
あけの平一丁目	453	33.1	150	2.2
あけの平二丁目	534	31.1	166	2.4
あけの平三丁目	633	35.4	224	3.3

行政区	配布数	回収率	回答数	回答率
日吉台一丁目	488	37.3	182	2.6
日吉台二丁目	647	34.8	225	3.3
日吉台三丁目	281	39.9	112	1.6
杜乃橋一丁目	353	28.6	101	1.5
杜乃橋二丁目	447	31.5	141	2.0
東向陽台第一（一丁目）	393	30.3	119	1.7
東向陽台第一（二丁目）	373	38.9	145	2.1
東向陽台三丁目	461	34.9	161	2.3
東向陽台サニーハイツ	175	24.6	43	0.6
明石台第一（一丁目）	448	38.8	174	2.5
明石台第二（二丁目）	324	39.8	129	1.9
明石台第三（三丁目）	440	46.8	206	3.0
明石台第三（四丁目）	184	32.6	60	0.9
明石台第五（四丁目, 五丁目）	683	39.7	271	3.9
明石台第六（六丁目）	365	37.0	135	2.0
明石台第七（七丁目）	303	34.7	105	1.5
明石台第八（八丁目）	231	30.7	71	1.0
明石台第九（九丁目）	379	31.1	118	1.7
明石台第十（明石宮前・上向田の一部）	193	34.2	66	1.0
成田第一（一丁目1～4番地）	224	33.0	74	1.1
成田第一（二丁目全域）	146	32.2	47	0.7
成田第一（三丁目全域）	424	37.5	159	2.3
成田第二（四丁目1～17番地）	323	26.3	85	1.2
成田第二（五丁目全域）	417	47.0	196	2.8
成田第一（六丁目1～17番地）	217	35.9	78	1.1
成田第三（七丁目全域）	538	41.8	225	3.3
成田第三（八丁目全域）	165	30.9	51	0.7
成田第三（九丁目全域）	5	20.0	1	0.0
成田第二（一丁目5～8番地）	21	23.8	5	0.1
成田第三（四丁目18～28番地）	374	30.5	114	1.7
成田第二（六丁目18～36番地）	283	42.0	119	1.7
上桜木一丁目	560	34.1	191	2.8
上桜木二丁目	-	-	-	-
大清水一丁目	438	36.1	158	2.3
大清水二丁目	246	33.3	82	1.2
行政区不詳			2	0.0
計	20,589		6,886	100.0

6 調査結果の見方

- n (number of cases) は回答割合算出における母数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を母数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 回答が皆無（0件）であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記しています。
- 図表中またはコメント中で2つ以上の選択肢の回答割合の合算値を掲載している箇所は、四捨五入の関係で、個々の回答割合の単純な足し上げ値と一致しない場合があります。
- 調査数（n）が少数のものは、回答割合の信頼性が低いため、コメントを省略している場合があります。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合があります。
- 回答者で分けて比較分析をする場合、『本人』はQ2で「ひきこもり状態にある方(ご本人)」を指し、『本人以外』はQ2で「同居のご家族」「別居のご家族」及び「その他」の方の合計としています。

Ⅱ ひきこもり当事者の概要

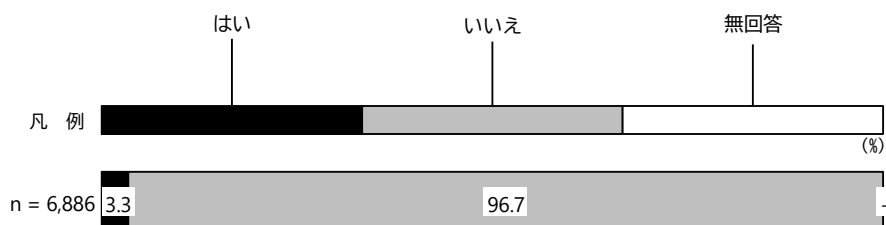
Ｑ０「ひきこもり状態にある方はいますか」を「はい」と回答した 226 人について集計しました。

設問	項目	件数	割合
当事者の年齢	15～19歳	18	8.0%
	20～29歳	49	21.7%
	30～39歳	49	21.7%
	40～49歳	38	16.8%
	50～59歳	37	16.4%
	60～64歳	17	7.5%
	無回答	18	8.0%
性別	男性	133	58.8%
	女性	72	31.9%
	答えたくない	9	4.0%
	無回答	12	5.3%
同居の有無	ひとり暮らし	16	7.1%
	同居(ひとり暮らし以外)	207	91.6%
	無回答	3	1.3%
ひきこもり期間	6か月～1年未満	21	9.3%
	1～2年	29	12.8%
	3～5年	49	21.7%
	6～9年	30	13.3%
	10～20年	54	23.9%
	21年以上	32	14.2%
	無回答	11	4.9%
ひきこもり状態になった きっかけ (複数回答)	不登校(小学校・中学校)	48	21.2%
	不登校(高校)	31	13.7%
	大学や専門学校でのつまづき	25	11.1%
	受験の失敗	3	1.3%
	就職の失敗	35	15.5%
	職場でのトラブルや馴染めなかった	43	19.0%
	失業・退職	45	19.9%
	けがや病気	34	15.0%
	メンタルヘルス不調	79	35.0%
	身体的な不調、障害	49	21.7%
	交際関係(友人・パートナー等)のトラブル	14	6.2%
	家庭でのトラブル(家族関係、離婚等)	20	8.8%
	転居	8	3.5%
	震災の影響	5	2.2%
	感染症の影響	9	4.0%
	わからない	8	3.5%
	その他	21	9.3%
	無回答	5	2.2%

1 ひきこもり状態にある方の有無について

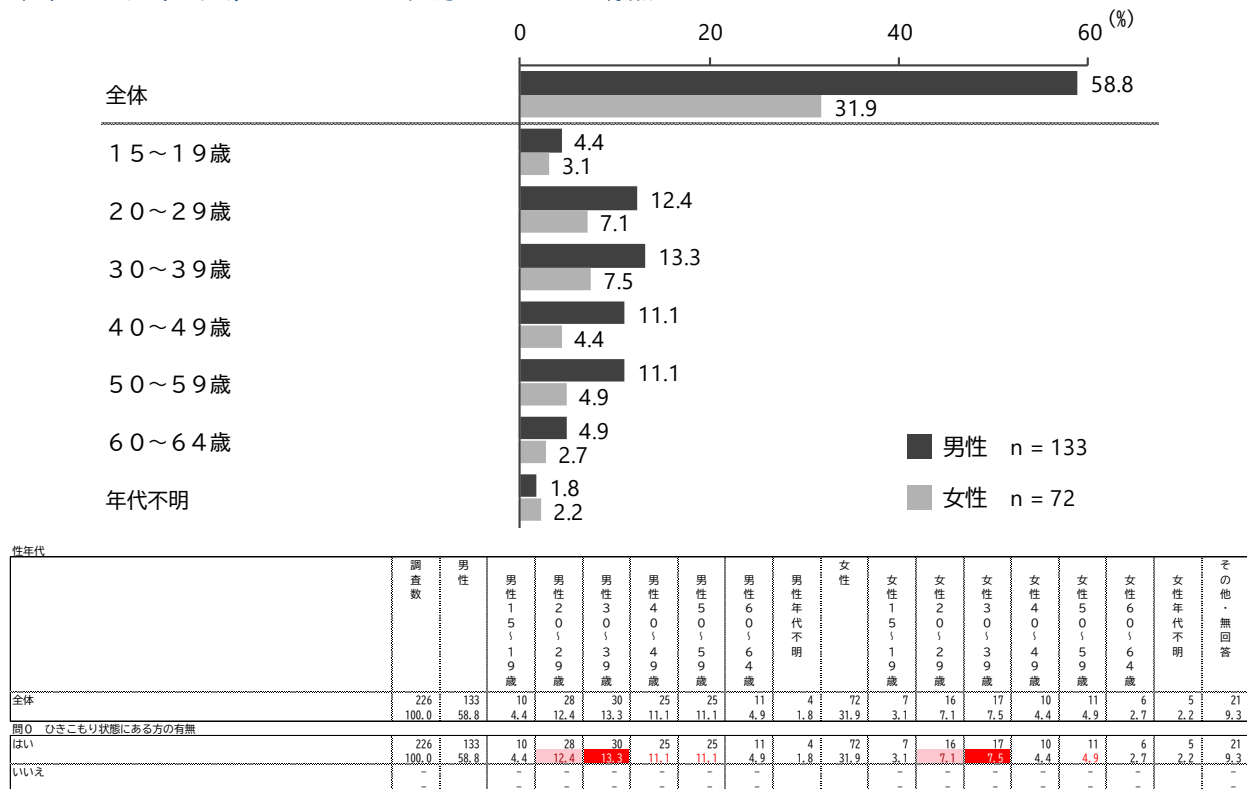
1-1 ひきこもり状態にある方の有無

Q0 ひきこもり状態にある方はいますか



ひきこもり状態にある方の有無については、「はい」が3.3%（226人）、「いいえ」が96.7%（6,660人）となっています。

◆本人の性年代別／ひきこもり状態にある方の有無



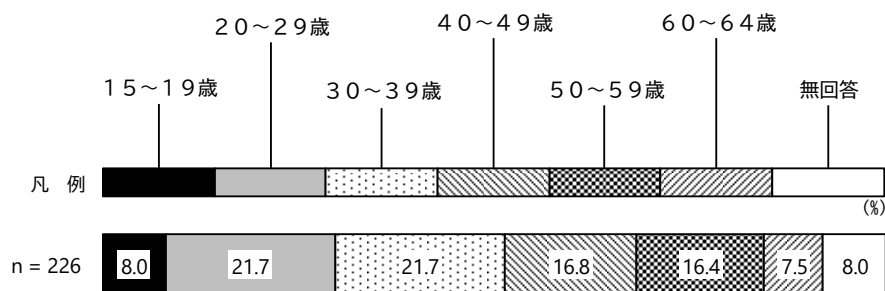
ひきこもり状態にある方の有無について「はい」と回答した人の割合を性年代別にみると、「男性 30～39 歳」が 13.3%と最も高く、次いで「男性 20～29 歳」（12.4%）、「男性 40～49 歳」及び「50～59 歳」（ともに 11.1%）となっています。男女ともに 20～39 歳で多い傾向がうかがえます。

2 ひきこもり当事者について

【Ｑ０.で「はい」と回答した方のみお答えください】

2-1 本人の年齢

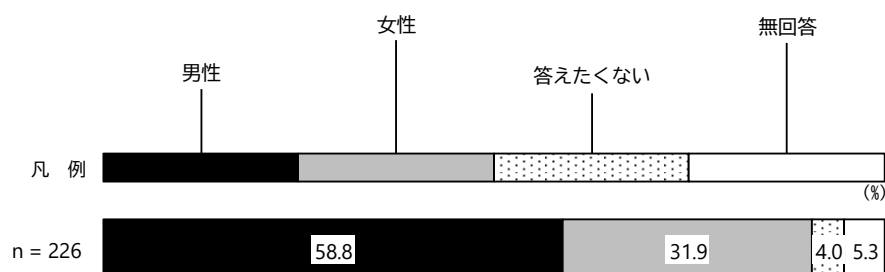
Ｑ１ ひきこもり状態にある方（ご本人）の年齢について



本人の年齢について、「20～29歳」及び「30～39歳」がいずれも21.7%と最も高く、次いで「40～49歳」（16.8%）、「50～59歳」（16.4%）となっています。

2-2 本人の性別

Ｑ１－１ ご本人の性別について



本人の性別について、「男性」が58.8%、「女性」が31.9%となっています。

◆本人以外の性年代別／本人の性年代

性年代（本人）

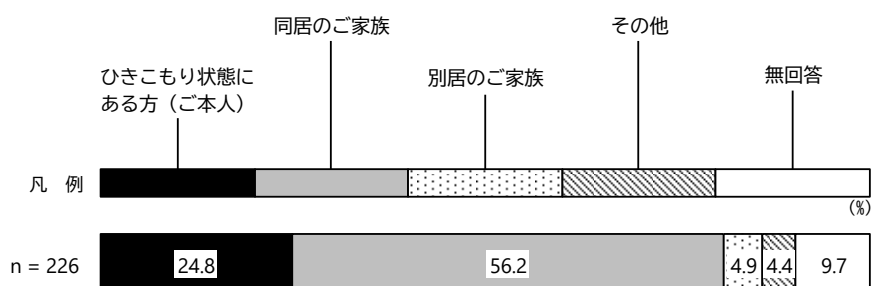
	調査数	男性 15 ～ 19 歳	男性 20 ～ 29 歳	男性 30 ～ 39 歳	男性 40 ～ 49 歳	男性 50 ～ 59 歳	男性 60 ～ 64 歳	女性 15 ～ 19 歳	女性 20 ～ 29 歳	女性 30 ～ 39 歳	女性 40 ～ 49 歳	女性 50 ～ 59 歳	女性 60 ～ 64 歳	無 回 答
全体	226 100.0	10 4.4	28 12.4	30 13.3	25 11.1	25 11.1	11 4.9	7 3.1	16 7.1	17 7.5	10 4.4	11 4.9	6 2.7	30 13.3
性年代（本人以外）														
男性15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性20～29歳	3 100.0	-	1 33.3	-	-	-	-	-	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-
男性30～39歳	3 100.0	-	-	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-	33.3	-	-	-	-
男性40～49歳	5 100.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-	-	2 40.0	-	-	-	1 20.0	-	-
男性50～59歳	16 100.0	4 25.0	6 37.5	1 6.3	-	1 6.3	-	-	3 18.8	-	-	-	-	1 6.3
男性60～64歳	10 100.0	-	2 20.0	3 30.0	-	-	-	-	2 20.0	1 10.0	-	-	-	2 20.0
男性65歳以上	28 100.0	2 7.1	1 3.6	7 25.0	7 25.0	6 21.4	1 3.6	-	-	-	-	-	2 7.1	2 7.1
女性15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性20～29歳	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性30～39歳	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-
女性40～49歳	9 100.0	-	1 11.1	-	2 22.2	1 11.1	1 11.1	2 22.2	1 11.1	-	-	-	-	1 11.1
女性50～59歳	20 100.0	1 5.0	7 35.0	-	1 5.0	1 5.0	-	-	4 20.0	1 5.0	-	2 10.0	1 5.0	2 10.0
女性60～64歳	10 100.0	-	4 40.0	4 40.0	-	-	-	-	1 10.0	1 10.0	-	-	-	-
女性65歳以上	22 100.0	-	-	4 18.2	8 36.4	3 13.6	-	1 4.5	1 4.5	3 13.6	-	1 4.5	-	1 4.5

ひきこもり本人の性年代を本人以外（回答者）の性年代別にみると、本人「男性40～49歳」×本人以外『女性65歳以上』が8人と最も回答人数が多く、次いで本人「男性20～29歳」×本人以外『女性50～59歳』、本人「男性30～39歳」×本人以外『男性65歳以上』、本人「男性40～49歳」×本人以外『男性65歳以上』（いずれも7人）となっている。

ひきこもり本人が男女ともに15～29歳の場合は、本人以外が男女ともに50～64歳の回答人数が多くなっていますが、ひきこもり本人が男性30～39歳以降の場合は本人以外が男女ともに65歳以上の回答人数が多くなっています。

2-3 アンケートの回答者

Q2 本アンケートの回答者はどなたですか

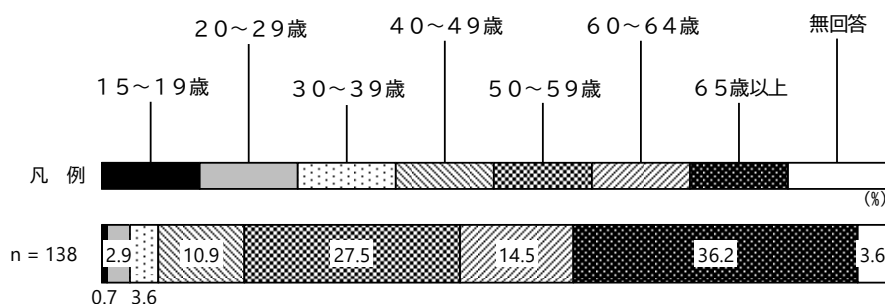


アンケートの回答者について、「同居のご家族」が 56.2%と最も高く、次いで「ひきこもり状態にある方（ご本人）」(24.8%)、「別居のご家族」(4.9%)となっています。

【Q2で「同居のご家族」または「別居のご家族」と回答した方のみお答えください】

2-4 回答者（家族）の年齢

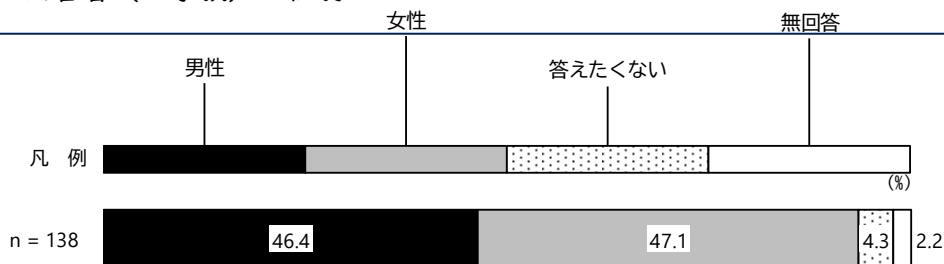
Q3 回答者（ご家族）の年齢について



回答者（家族）の年齢について、「65歳以上」が 36.2%と最も高く、次いで「50～59歳」(27.5%)、「60～64歳」(14.5%)となっています。

2-5 回答者（家族）の性別

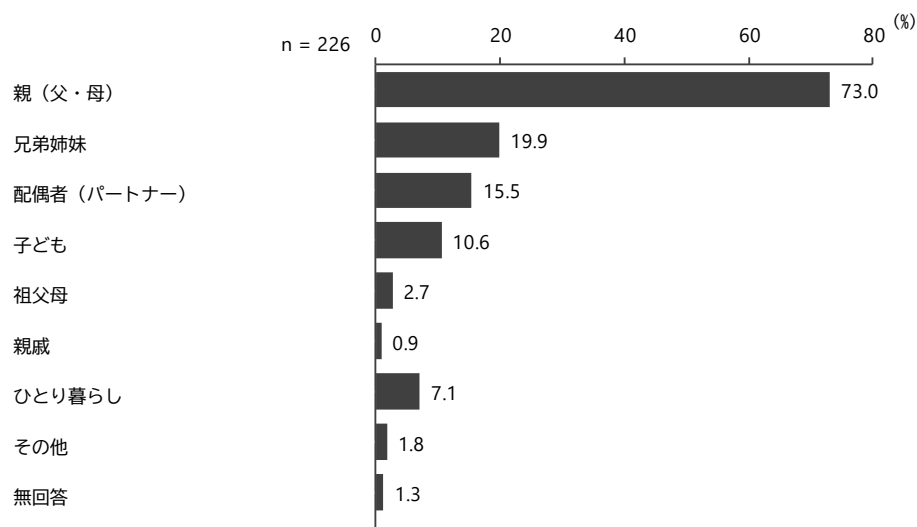
Q3-1 回答者（ご家族）の性別について



回答者（家族）の性別について、「男性」が 46.4%、「女性」が 47.1%となっています。

2-6 本人と同居している家族

Q4 ご本人はご家族と同居していますか（複数回答可）



本人と同居している家族について、「親（父・母）」が73.0%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」（19.9%）、「配偶者（パートナー）」（15.5%）となっています。

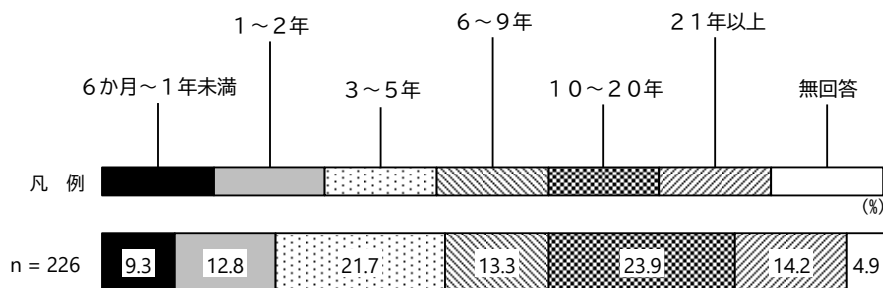
◆本人の年齢別／本人と同居している家族

		n	親（父・母）	兄弟姉妹	配偶者（パートナー）	子ども	祖父母	親戚	ひとり暮らし	その他	無回答
全体		226	73.0	19.9	15.5	10.6	2.7	0.9	7.1	1.8	1.3
本人の年齢別	15～19歳	18	100.0	55.6	-	5.6	-	-	-	-	-
	20～29歳	49	87.8	26.5	6.1	4.1	10.2	2.0	6.1	-	-
	30～39歳	49	81.6	20.4	12.2	8.2	-	2.0	2.0	2.0	-
	40～49歳	38	76.3	7.9	18.4	18.4	-	-	5.3	-	-
	50～59歳	37	67.6	18.9	16.2	13.5	2.7	-	8.1	-	-
	60～64歳	17	29.4	5.9	47.1	11.8	-	-	23.5	5.9	-

本人の年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「親（父・母）」や「兄弟姉妹」と同居の割合が低くなる一方、「配偶者（パートナー）」と同居や「ひとり暮らし」が増え、『60～64歳』では「ひとり暮らし」が23.5%と他の年齢に比べ回答割合が高くなっています。

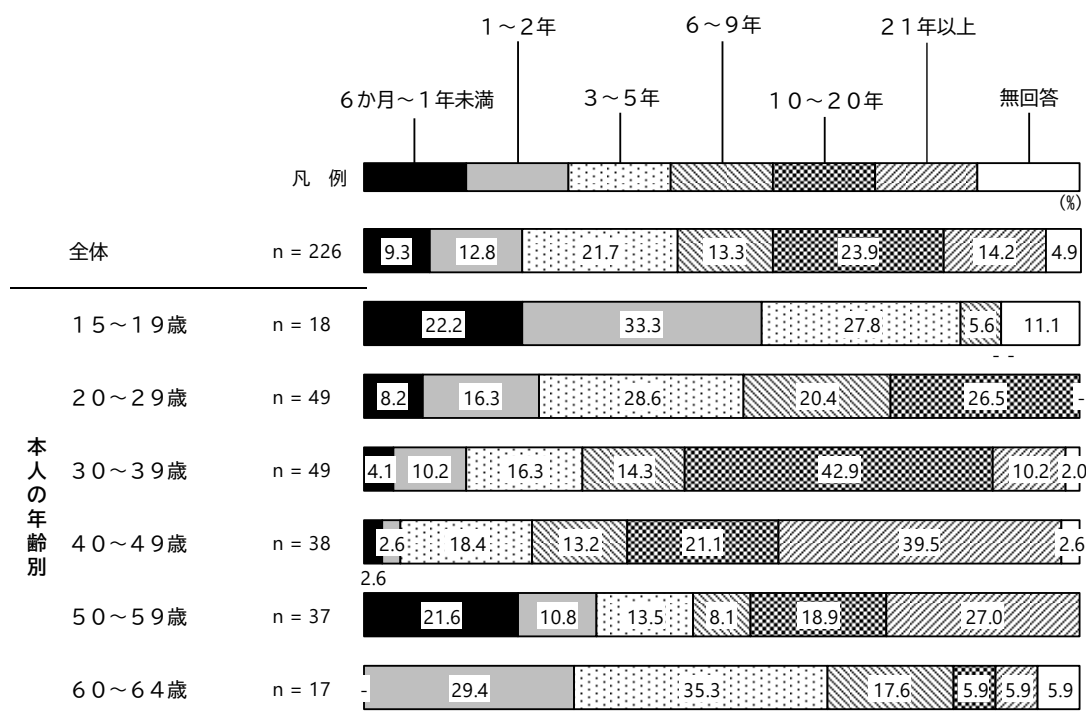
2-7 ひきこもり期間

Q5 現在の状態になられてから、どのくらい経っていますか



ひきこもり期間について、「10～20年」が23.9%と最も高く、次いで「3～5年」(21.7%)、「21年以上」(14.2%)となっています。

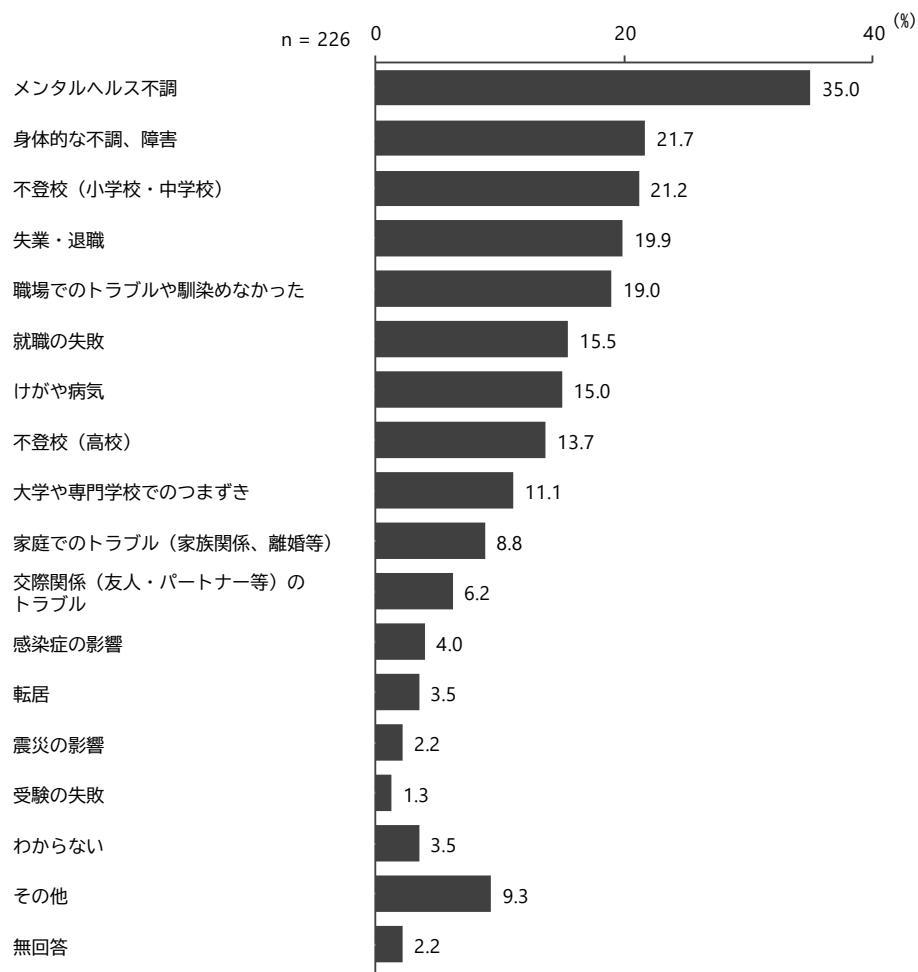
◆本人の年齢別／ひきこもり期間



本人の年齢別にみると、『30～39歳』では「10～20年」、『40～49歳』では「21年以上」が約4割と回答割合が高くなっています。

2-8 現在の状態になったきっかけ

Q6 現在の状態になったきっかけは何ですか（複数回答可）



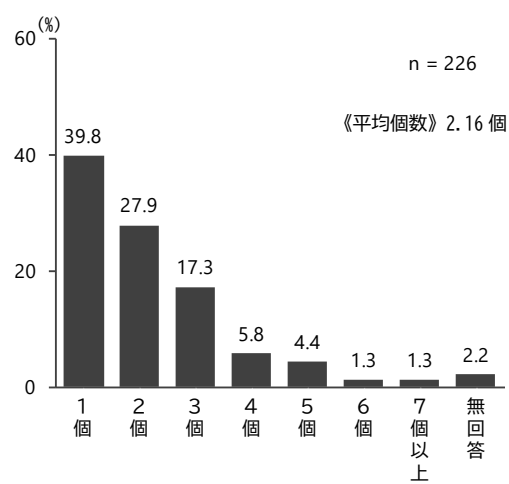
現在の状態になったきっかけについて、「メンタルヘルス不調」が 35.0%と最も高く、次いで「身体的な不調、障害」（21.7%）、「不登校（小学校・中学校）」（21.2%）となっています。

◆本人の年齢別／現在の状態になったきっかけ

																						(%)
		n	メンタルヘルス不調	身体的な不調、障害	不登校（小学校・中学校）	失業・退職	職場でのトラブルや馴染めなかった	就職の失敗	けがや病気	不登校（高校）	大学や専門学校でのつまずき	離婚等	家庭でのトラブル（家族関係、等）のトラブル（友人・パートナー	感染症の影響	転居	震災の影響	受験の失敗	わからない	その他	無回答	《平均個数》	
全体		226	35.0	21.7	21.2	19.9	19.0	15.5	15.0	13.7	11.1	8.8	6.2	4.0	3.5	2.2	1.3	3.5	9.3	2.2	2.16個	
本人の年齢別	15～19歳	18	33.3	16.7	72.2	-	-	-	-	22.2	5.6	11.1	22.2	-	5.6	-	-	-	11.1	-	2.00個	
	20～29歳	49	34.7	14.3	38.8	12.2	16.3	22.4	-	28.6	24.5	8.2	6.1	6.1	4.1	2.0	2.0	2.0	6.1	-	2.29個	
	30～39歳	49	46.9	26.5	18.4	22.4	30.6	16.3	20.4	16.3	12.2	2.0	6.1	2.0	4.1	4.1	-	-	14.3	-	2.43個	
	40～49歳	38	44.7	28.9	13.2	15.8	18.4	10.5	21.1	7.9	-	15.8	5.3	5.3	5.3	-	-	15.8	2.6	2.6	2.16個	
	50～59歳	37	24.3	18.9	-	32.4	21.6	18.9	27.0	5.4	10.8	5.4	-	2.7	2.7	2.7	-	-	10.8	-	1.84個	
	60～64歳	17	11.8	23.5	-	52.9	5.9	5.9	11.8	-	5.9	11.8	-	-	-	5.9	-	5.9	17.6	-	1.59個	

本人の年齢別にみると、『15～49 歳』では「メンタルヘルス不調」が3～4割と回答割合が高くなっています。「不登校（小学校・中学校）」は『15～19 歳』で72.2%、『20～29 歳』では38.8%と若い世代で回答割合が高くなっています。また、概ね年齢が上がるにつれて「失業・退職」の回答割合が高く、特に、『60～64 歳』では52.9%と半数を超えています。平均個数は、『30～39 歳』が2.43 個と最も多くなっている一方、『50～64 歳』では2 個を下回っています。

◆選択した個数（きっかけ）



現在の状態になったきっかけで選択した個数をみると、「1 個」が39.8%と最も高く、個数が増えるにつれて回答割合が低くなっています。一方、58.0%の人が複数個のきっかけを選択しています。

◆本人の性年代別

／現在の状態になったきっかけ「メンタルヘルス不調」とともに選択されたもので多かった回答

男性 15～19 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	1
◎不登校（小学校・中学校）	1
交際関係（友人・パートナー等）のトラブル	1

男性 20～29 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	9
◎大学や専門学校でのつまずき	4
◎不登校（高校）	3
◆就職の失敗	3
身体的な不調、障害	3

男性 30～39 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	11
◆職場でのトラブルや馴染めなかった	7
◆就職の失敗	3
◎不登校（小学校・中学校）	2
◎不登校（高校）	2
◎大学や専門学校でのつまずき	2

男性 40～49 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	9
◎不登校（小学校・中学校）	4
◆職場でのトラブルや馴染めなかった	2
身体的な不調、障害	2
家庭でのトラブル（家族関係、離婚等）	2

男性 50～59 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	5
◆職場でのトラブルや馴染めなかった	1
◆失業・退職	1
家庭でのトラブル（家族関係、離婚等）	1

男性 60～64 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	1
◆失業・退職	1

女性 15～19 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	5
◎不登校（小学校・中学校）	5
身体的な不調、障害	3

女性 20～29 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	7
◎不登校（高校）	3
◎大学や専門学校でのつまずき	3
◆職場でのトラブルや馴染めなかった	3
◎不登校（小学校・中学校）	2

女性 30～39 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	12
◆職場でのトラブルや馴染めなかった	6
◆失業・退職	6
身体的な不調、障害	6
◆就職の失敗	3
けがや病気	3
◎不登校（高校）	2
交際関係（友人・パートナー等）のトラブル	2

女性 40～49 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	6
身体的な不調、障害	4
◆失業・退職	2
けがや病気	2

女性 50～59 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	4
◆職場でのトラブルや馴染めなかった	2
身体的な不調、障害	2

女性 60～64 歳	選択個数
メンタルヘルス不調	1
◆失業・退職	1
家庭でのトラブル（家族関係、離婚等）	1
震災の影響	1

◎学校に関するもの 不登校（小学校・中学校） 不登校（高校） 大学や専門学校でのつまずき 受験の失敗	◆仕事に関するもの 就職の失敗 職場でのトラブルや馴染めなかった 失業・退職
--	---

前述のとおり、現在の状態になったきっかけについて、「メンタルヘルス不調」の回答割合が最も高く、選択した個数が複数ある割合が約6割と高いことから、「メンタルヘルス不調」とともにどの回答が多かったかを性年代別に分析しました。

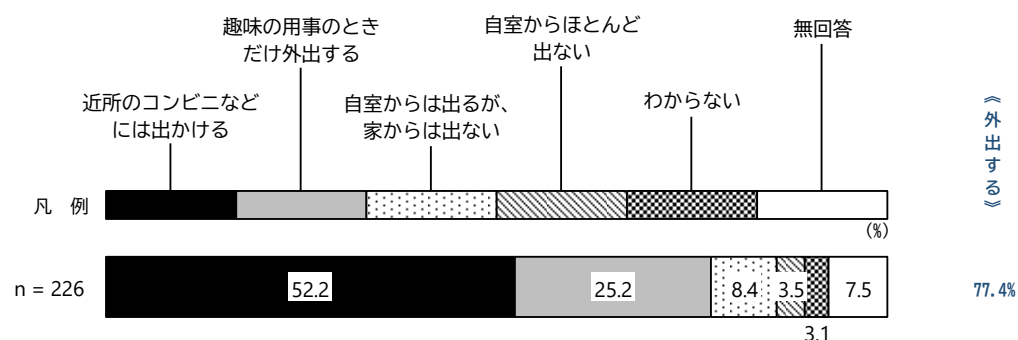
男女ともに15～29歳では学校に関するものがメンタルヘルス不調とともに選択されています。一方、30～39歳以降では仕事に関するものが選択されています。特に、60～64歳を除く年代では「職場でのトラブルや馴染めなかった」が多くなっています。

Ⅲ 調査結果

1 外出状況について

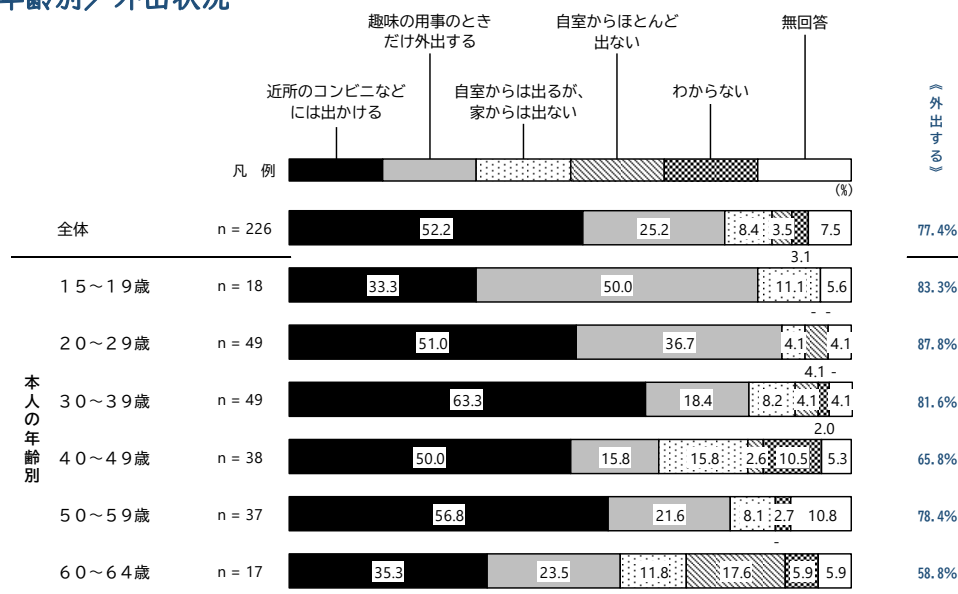
1-1 外出状況

Q7 ご本人の外出状況に一番近いものを1つ選んでください



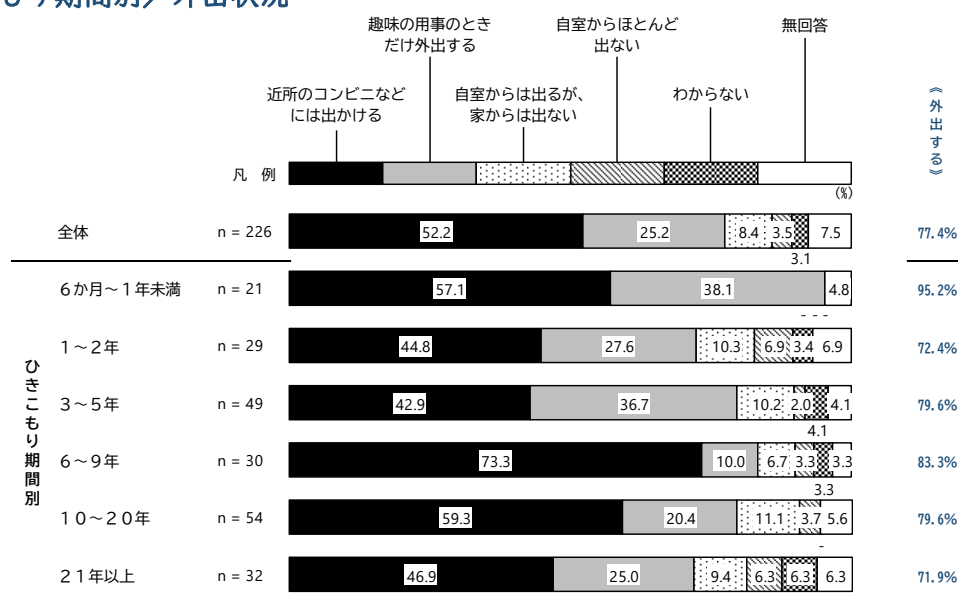
外出状況について、「近所のコンビニなどには出かける」が 52.2%と最も高く、次いで「趣味の用事の時だけ外出する」(25.2%)、「自室からは出るが、家からは出ない」(8.4%)となっています。また、《外出する》(「近所のコンビニなどには出かける」+「趣味の用事の時だけ外出する」の合計)は7割を超えています。

◆本人の年齢別／外出状況



本人の年齢別にみると、『15～19歳』及び『60～64歳』を除いた年齢では「近所のコンビニなどには出かける」が半数以上となっており、特に、『30～39歳』で63.3%と最も高くなっています。一方、『15～19歳』では「趣味の用事のときだけ外出する」が半数と他の年齢に比べ回答割合が高くなっています。《外出する》は全ての年齢で半数以上となっており、特に、『15～39歳』では8割を超えています。また、『60～64歳』では「自室からほとんど出ない」が唯一1割を超えています。

◆ひきこもり期間別／外出状況

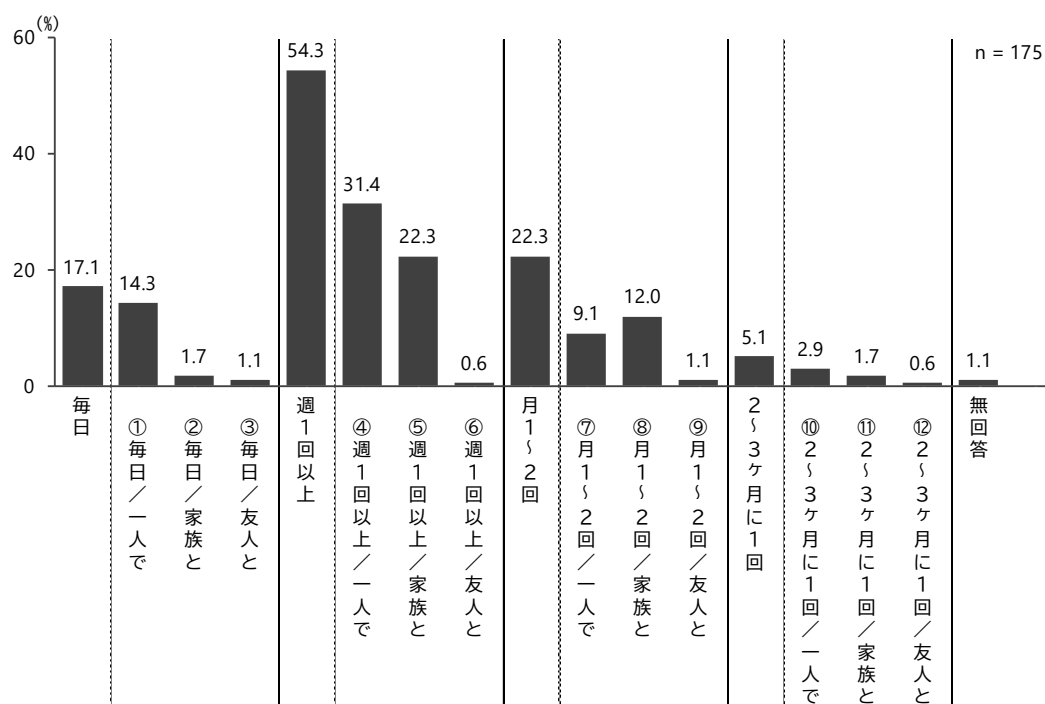


ひきこもり期間別にみると、『6～9年』では「近所のコンビニなどには出かける」が73.3%と最も高くなっています。一方、『6か月～1年未満』及び『3～5年』では「趣味の用事のときだけ外出する」が3割台と他の期間に比べ回答割合が高くなっています。また、全ての期間で《外出する》は7割を超え、特に、『6か月～1年未満』では9割を超えています。

1-2 外出の頻度

【Q7で「近所のコンビニなどには出かける」または「趣味の用事するときだけ外出する」と回答した方のみお答えください】

Q7-1 外出の頻度について一番近いものを1つ選んでください



外出の頻度について、「週1回以上」が54.3%と最も高く、次いで「月1～2回」(22.3%)、「毎日」(17.1%)となっています。また、①から⑫の外出頻度／誰と外出するかをみると、「④週1回以上／一人で」が31.4%と最も高く、次いで「⑤週1回以上／家族と」(22.3%)、「①毎日／一人で」(14.3%)となっています。

◆本人の年齢別／外出の頻度

		n	毎日	①毎日／一人で	②毎日／家族と	③毎日／友人と	週1回以上	④週1回以上／一人で	⑤週1回以上／家族と	⑥週1回以上／友人と	月1～2回	⑦月1～2回／一人で	⑧月1～2回／家族と	⑨月1～2回／友人と	2～3ヶ月に1回	⑩2～3ヶ月に1回／一人で	⑪2～3ヶ月に1回／家族と	⑫2～3ヶ月に1回／友人と	無回答
全体		175	17.1	14.3	1.7	1.1	54.3	31.4	22.3	0.6	22.3	9.1	12.0	1.1	5.1	2.9	1.7	0.6	1.1
本人の年齢別	15～19歳	15	6.7	-	-	6.7	40.0	13.3	26.7	-	53.3	13.3	33.3	6.7	-	-	-	-	-
	20～29歳	43	11.6	11.6	-	-	51.2	30.2	18.6	2.3	23.3	4.7	18.6	-	11.6	4.7	4.7	2.3	2.3
	30～39歳	40	15.0	12.5	2.5	-	57.5	25.0	32.5	-	27.5	15.0	10.0	2.5	-	-	-	-	-
	40～49歳	25	12.0	8.0	4.0	-	76.0	48.0	28.0	-	4.0	-	4.0	-	4.0	4.0	-	-	4.0
	50～59歳	29	34.5	34.5	-	-	34.5	24.1	10.3	-	20.7	13.8	6.9	-	10.3	6.9	3.4	-	-
	60～64歳	10	20.0	10.0	-	10.0	70.0	60.0	10.0	-	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-

本人の年齢別にみると、『15～19歳』のみ「月1～2回」が最も高くなっています。その他の年齢では「週1回以上」の回答割合が高く、特に、『50～59歳』では「①毎日／一人で」が34.5%と最も高くなっています。一方、「④週1回以上／一人で」は『60～64歳』で6割、『40～49歳』では約5割と他の年齢に比べ回答割合が高くなっています。

◆ひきこもり期間別／外出の頻度

		n	毎日	①毎日／一人で	②毎日／家族と	③毎日／友人と	週1回以上	④週1回以上／一人で	⑤週1回以上／家族と	⑥週1回以上／友人と	月1～2回	⑦月1～2回／一人で	⑧月1～2回／家族と	⑨月1～2回／友人と	2～3ヶ月に1回	⑩2～3ヶ月に1回／一人で	⑪2～3ヶ月に1回／家族と	⑫2～3ヶ月に1回／友人と	無回答
全体		175	17.1	14.3	1.7	1.1	54.3	31.4	22.3	0.6	22.3	9.1	12.0	1.1	5.1	2.9	1.7	0.6	1.1
ひきこもり期間別	6か月～1年未満	20	5.0	5.0	-	-	75.0	55.0	20.0	-	20.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-
	1～2年	21	23.8	19.0	-	4.8	61.9	33.3	28.6	-	14.3	4.8	4.8	4.8	-	-	-	-	-
	3～5年	39	20.5	17.9	-	2.6	41.0	25.6	15.4	-	25.6	7.7	17.9	-	7.7	2.6	2.6	2.6	5.1
	6～9年	25	12.0	12.0	-	-	52.0	32.0	16.0	4.0	32.0	16.0	12.0	4.0	4.0	4.0	-	-	-
	10～20年	43	18.6	14.0	4.7	-	58.1	27.9	30.2	-	18.6	9.3	9.3	-	4.7	2.3	2.3	-	-
	21年以上	23	17.4	17.4	-	-	47.8	30.4	17.4	-	21.7	8.7	13.0	-	13.0	8.7	4.3	-	-

ひきこもり期間別にみると、全ての期間で「週1回以上」が最も高くなっており、特に、『6か月～1年未満』では「④週1回以上／一人で」が55.0%と最も高くなっています。一方、『1～2年』及び『10～20年』では「⑤週1回以上／家族と」が約3割と他の期間に比べ回答割合が高くなっています。

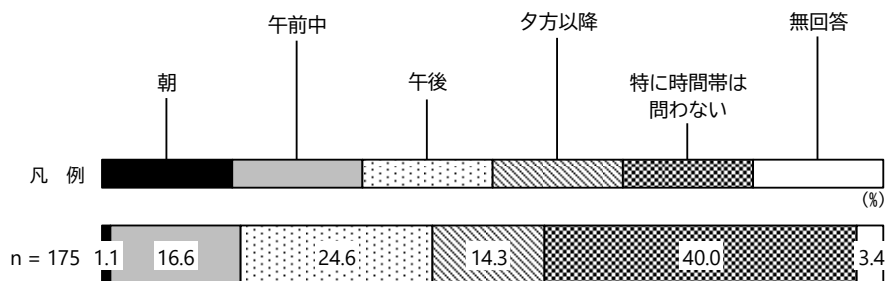
◆本人の性別／外出の頻度

		n	毎日	① 毎日／一人で	② 毎日／家族と	③ 毎日／友人と	週1回以上	④ 週1回以上／一人で	⑤ 週1回以上／家族と	⑥ 週1回以上／友人と	月1～2回	⑦ 月1～2回／一人で	⑧ 月1～2回／家族と	⑨ 月1～2回／友人と	2～3ヶ月に1回	⑩ 2～3ヶ月に1回／一人で	⑪ 2～3ヶ月に1回／家族と	⑫ 2～3ヶ月に1回／友人と	無回答	(%)
全体		175	17.1	14.3	1.7	1.1	54.3	31.4	22.3	0.6	22.3	9.1	12.0	1.1	5.1	2.9	1.7	0.6	1.1	
本人の性別	男性	103	17.5	16.5	-	1.0	52.4	35.0	17.5	-	20.4	10.7	8.7	1.0	8.7	4.9	2.9	1.0	1.0	
	女性	60	11.7	10.0	-	1.7	58.3	25.0	31.7	1.7	28.3	6.7	20.0	1.7	-	-	-	-	1.7	
	答えたくない	7	57.1	28.6	28.6	-	42.9	28.6	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

本人の性別にみると、『女性』では「家族と」でかける割合が『男性』に比べ高くなっており、「⑤週1回以上／家族と」が14.2ポイント、「⑧月1～2回／家族と」が11.3ポイント高くなっています。

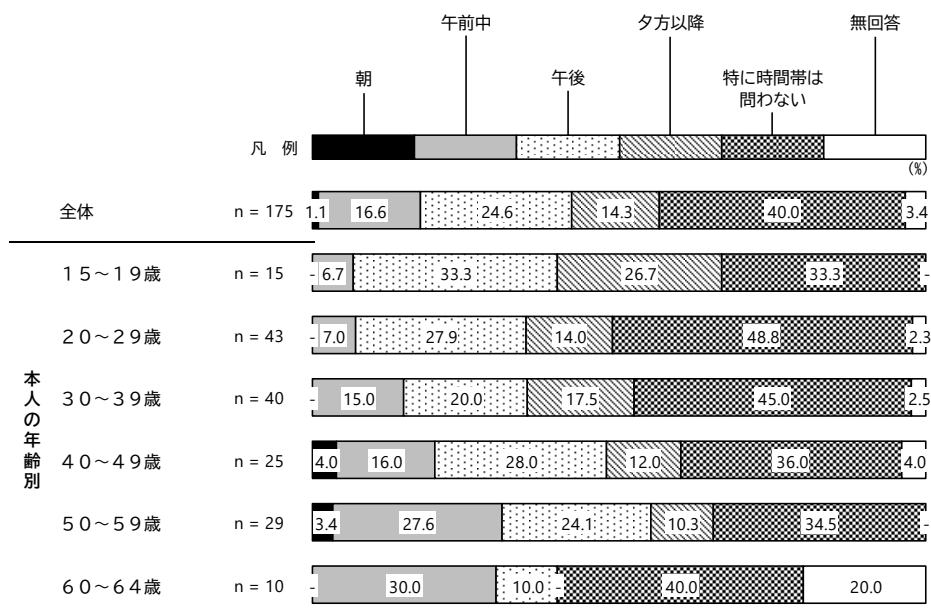
1-3 外出しやすい時間帯

Q7-2 一日の中で外出しやすい時間帯はありますか



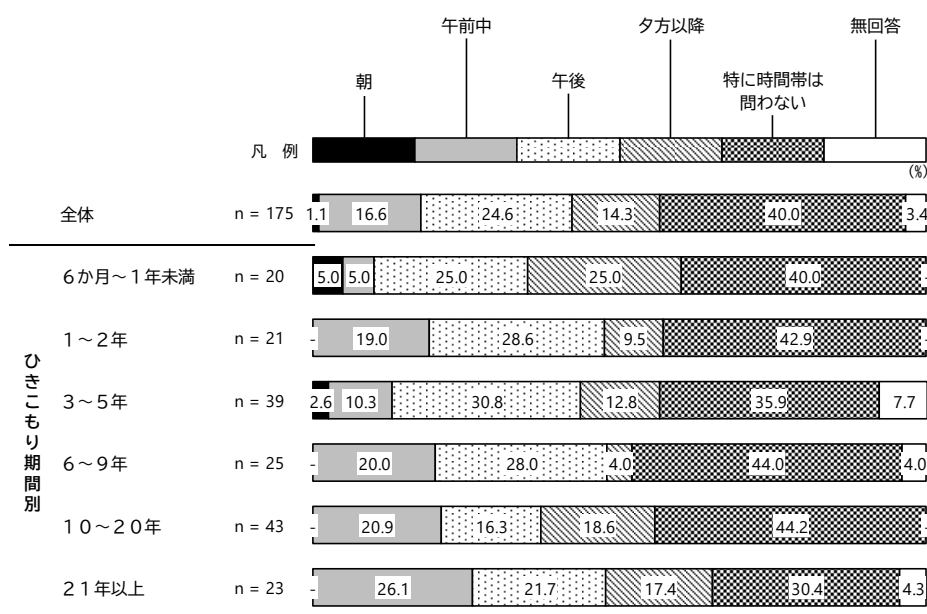
外出しやすい時間帯について、「午後」が24.6%と最も高く、次いで「午前中」(16.6%)、「夕方以降」(14.3%)となっています。一方、「特に時間帯は問わない」が40.0%と一定数の回答がみられます。

◆本人の年齢別／外出しやすい時間帯



本人の年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「午前中」の回答割合が高くなっている一方、「夕方以降」は回答割合が低くなっています。また、『20～29歳』では「特に時間帯は問わない」が約5割となっています。

◆ひきこもり期間別／外出しやすい時間帯

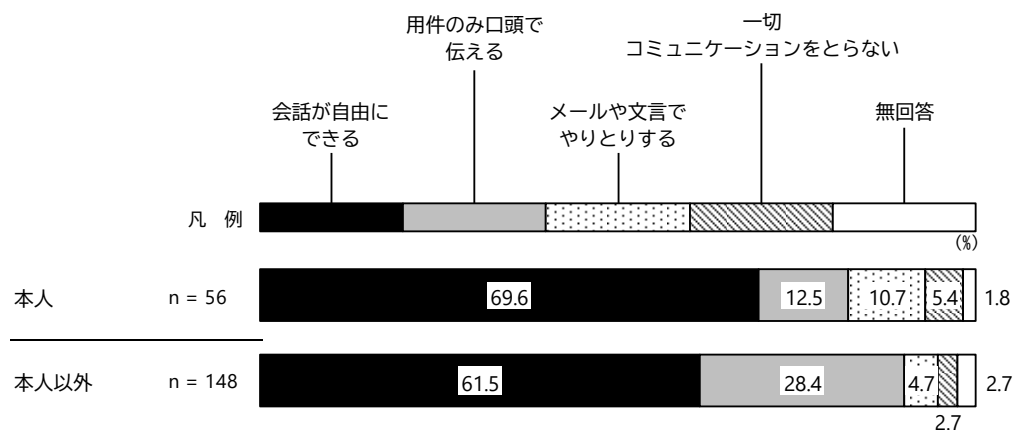


ひきこもり期間別にみると、概ねひきこもり期間が長くなるにつれて「午前中」の回答割合が高くなっています。また、概ね全ての期間で「午後」が約2～3割、「特に時間帯は問わない」は3～4割となっています。

2 コミュニケーションについて

2-1 本人のコミュニケーションをとる際の状況

Q8 ご本人が、家族や親しい方とのコミュニケーションをとる際の一番近い状況を1つ選んでください

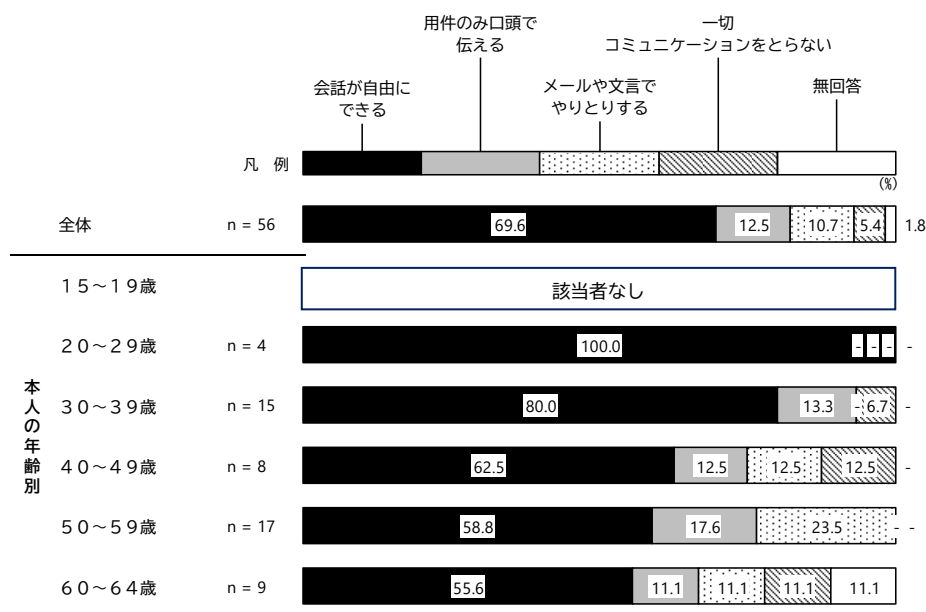


家族や親しい人とのコミュニケーション状況について、本人、本人以外ともに「会話が自由に見える」（本人：69.6%、本人以外：61.5%）が最も高く、次いで「用件のみ口頭で伝える」（本人：12.5%、本人以外：28.4%）、「メールや文言でやりとりする」（本人：10.7%、本人以外：4.7%）となっています。

本人と本人以外の回答を比較すると、本人以外では「用件のみ口頭で伝える」が本人に比べ15.9ポイント高くなっています。

【本人】

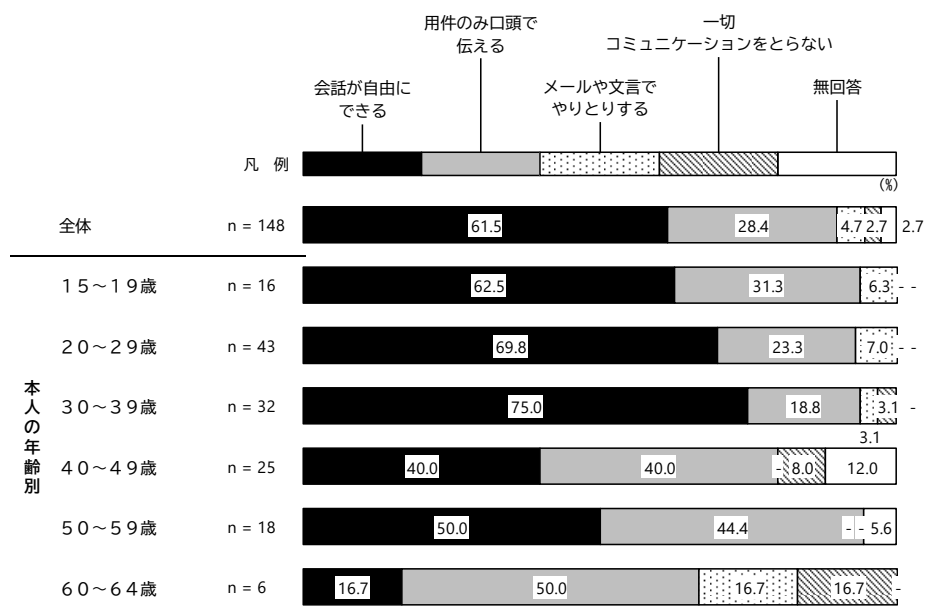
◆本人の年齢別／家族や親しい人とのコミュニケーション状況



本人の回答を年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「会話が自由にできる」の回答割合が低くなっています。一方、『50～59歳』では「メールや文言でやりとりする」が23.5%と他の年齢に比べ回答割合が高くなっています。

【本人以外】

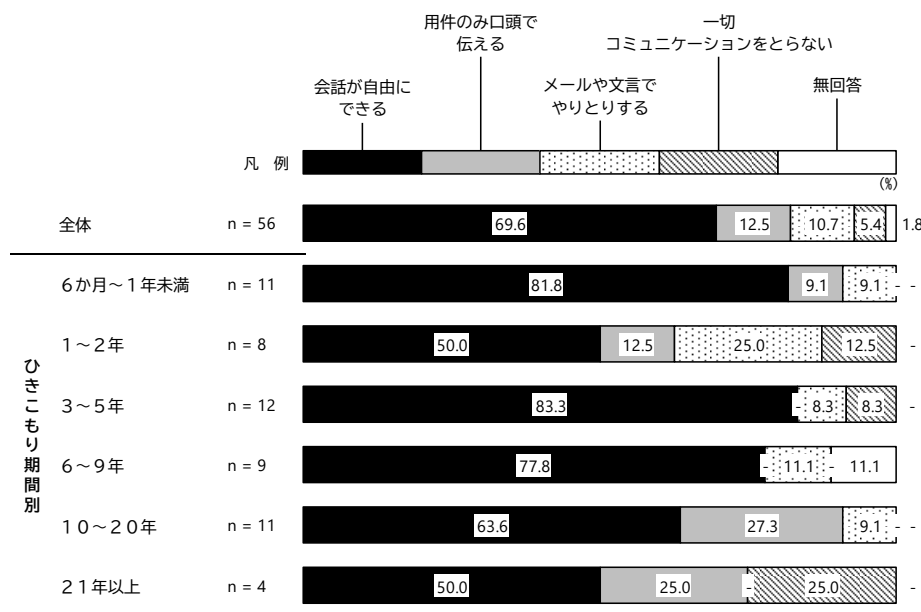
◆本人の年齢別／家族や親しい人とのコミュニケーション状況



本人以外の回答を本人の年齢別にみると、『15～39歳』では「会話が自由にできる」が6割を超えている一方、『40～64歳』では「用件のみ口頭で伝える」が4～5割となっています。

【本人】

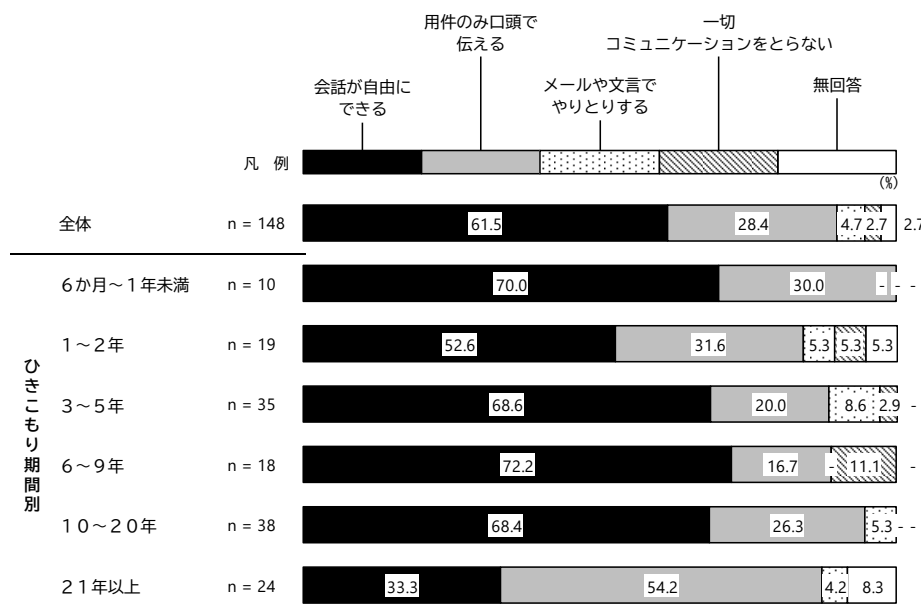
◆ひきこもり期間別／家族や親しい人とのコミュニケーション状況



本人の回答をひきこもり期間別にみると、全ての期間で「会話が自由に行える」が半数以上となっており、特に、『6か月～1年未満』及び『3～5年』では8割、『6～9年』では7割を超えています。一方、『10～20年』では「用件のみ口頭で伝える」が約3割となっています。

【本人以外】

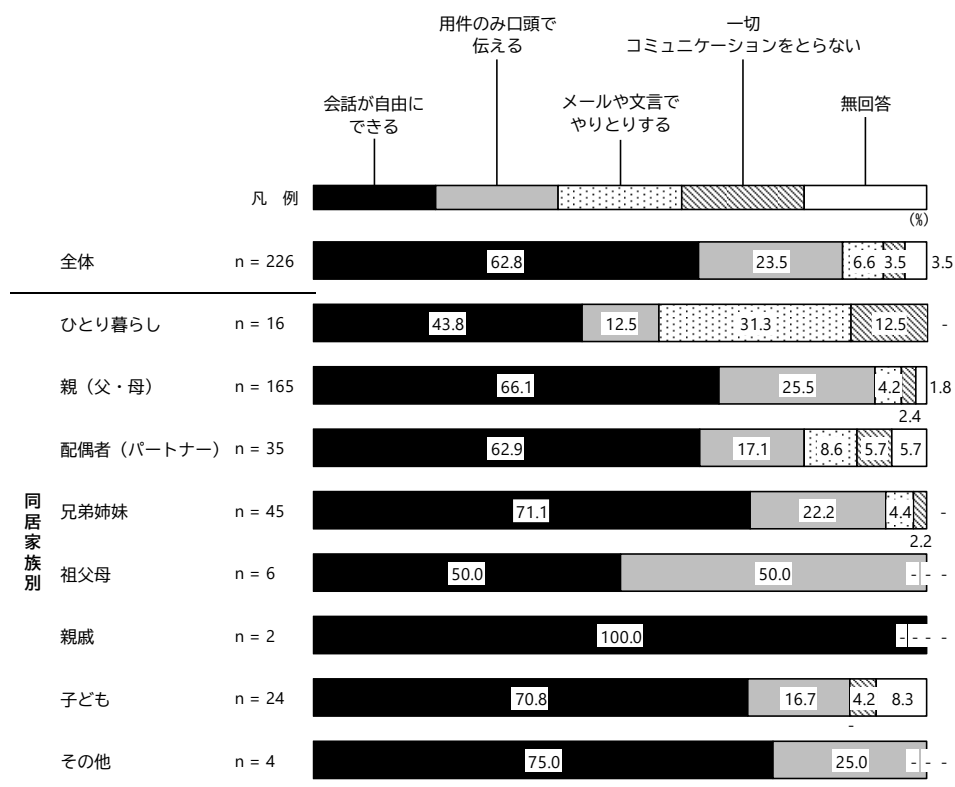
◆ひきこもり期間別／家族や親しい人とのコミュニケーション状況



本人以外の回答をひきこもり期間別にみると、『21年以上』を除いた期間では「会話が自由に行える」が半数以上となっており、特に、『6～9年』では72.2%と最も高くなっています。一方、『21年以上』では「用件のみ口頭で伝える」が54.2%と他の期間に比べ回答割合が高くなっています。また、『6～9年』では「一切コミュニケーションをとらない」が唯一1割を超えています。

【本人＋本人以外】

◆同居家族別／家族や親しい人とのコミュニケーション状況

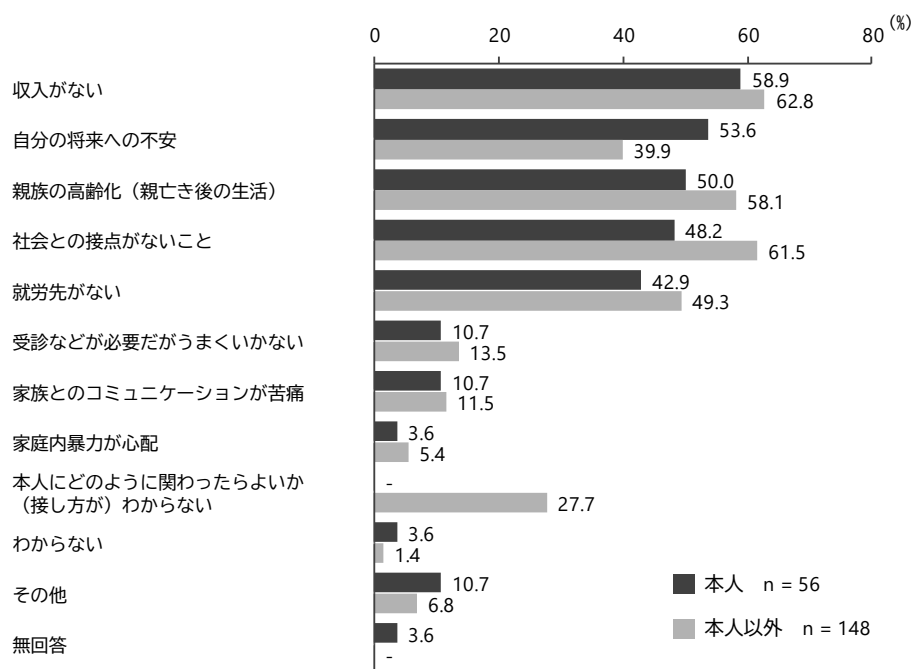


同居家族別にみると、いずれの同居家族においても「会話が自由に行える」の回答割合が最も高くなっています。一方、『ひとり暮らし』では「メールや文言でやりとりする」が31.3%と同居家族がいる人に比べ回答割合が高くなっています。また、「一切コミュニケーションをとらない」が唯一1割を超えています。

3 不安や困りごとについて

3-1 本人や家族の不安や困りごと

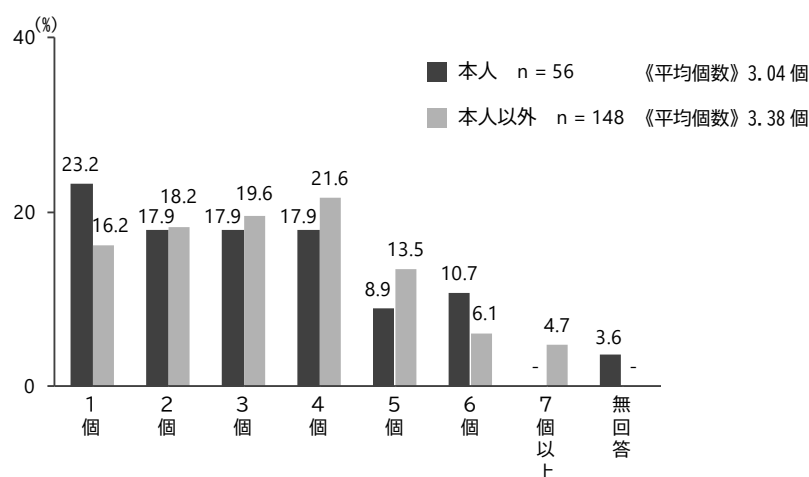
Q9 ご本人やその家族の現在の不安や困りごとは何ですか（複数回答可）



本人や家族の不安や困りごとについて、本人、本人以外ともに「収入がない」（本人 58.9%、本人以外：62.8%）と最も高くなっています。次いで、本人では「自分の将来への不安」（53.6%）、「親族の高齢化（親亡き後の生活）」（50.0%）となっています。本人以外では「社会との接点がないこと」（61.5%）、「親族の高齢化（親亡き後の生活）」（58.1%）となっています。

本人と本人以外の回答を比較すると、本人では「自分の将来への不安」が本人以外に比べ 13.7 ポイント高くなっている一方、本人以外では「社会との接点がないこと」が本人に比べ 13.3 ポイント高くなっています。

◆選択した個数（本人や家族の不安や困りごと）



本人や家族の不安や困りごとで選択した個数をみると、本人では「1 個」が 23.2%と最も高くなっている一方、本人以外では「4 個」が 21.6%と最も高くなっています。平均個数をみても、本人以外は本人に比べやや多く、不安や困りごとを多く抱えている傾向にあることがうかがえます。

【本人】

◆本人の年齢別／本人や家族の不安や困りごと

		n	収入がない	自分の将来への不安	親族の高齢化（親亡き後の生活）	社会との接点がないこと	就労先がない	受診などが必要だがうまくいかない（本人にどのように関わったらよいか（接し方が）わからない）	家族とのコミュニケーションが苦痛	家庭内暴力が心配	本人にどのように関わったらよいか（接し方が）わからない	わからない	その他	無回答	《平均個数》
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		56	58.9	53.6	50.0	48.2	42.9	10.7	10.7	3.6	-	3.6	10.7	3.6	3.04個
本人の年齢別	15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	4	75.0	75.0	25.0	75.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	3.00個
	30～39歳	15	73.3	80.0	73.3	40.0	60.0	26.7	20.0	-	-	6.7	-	-	3.80個
	40～49歳	8	87.5	62.5	62.5	62.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	-	37.5	-	3.75個
	50～59歳	17	64.7	47.1	47.1	52.9	58.8	5.9	11.8	5.9	-	-	5.9	-	3.00個
	60～64歳	9	11.1	22.2	33.3	44.4	11.1	-	-	-	-	11.1	-	11.1	1.50個

本人の回答を年齢別にみると、『60～64歳』を除いた年齢では「収入がない」が6割を超えています。一方、『20～49歳』では「自分の将来への不安」や「親族の高齢化（親亡き後の生活）」の回答割合が高い傾向にあります。また、『40～49歳』及び『60～64歳』を除いた年齢では「就労先がない」が半数以上となっています。平均個数は、『30～39歳』が3.80個と最も多くなっている一方、『60～64歳』では唯一3個を下回っています。

【本人以外】

◆本人の年齢別／本人や家族の不安や困りごと

		n	収入がない	社会との接点がないこと	親族の高齢化（親亡き後の生活）	就労先がない	自分の将来への不安	受診などが必要だがうまくいかない（本人にどのように関わったらよいか（接し方が）わからない）	家族とのコミュニケーションが苦痛	家庭内暴力が心配	わからない	その他	無回答	《平均個数》
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		148	62.8	61.5	58.1	49.3	39.9	27.7	13.5	11.5	5.4	1.4	6.8	3.38個
本人の年齢別	15～19歳	16	18.8	62.5	12.5	12.5	37.5	43.8	12.5	12.5	6.3	6.3	12.5	2.38個
	20～29歳	43	74.4	74.4	53.5	65.1	46.5	23.3	16.3	7.0	2.3	-	7.0	3.70個
	30～39歳	32	81.3	65.6	75.0	56.3	37.5	28.1	15.6	6.3	6.3	-	3.1	3.75個
	40～49歳	25	76.0	60.0	68.0	60.0	36.0	28.0	16.0	12.0	12.0	4.0	4.0	3.76個
	50～59歳	18	50.0	61.1	77.8	33.3	38.9	22.2	5.6	11.1	5.6	-	11.1	3.17個
	60～64歳	6	16.7	16.7	33.3	16.7	50.0	50.0	16.7	66.7	-	-	16.7	2.83個

本人以外の回答を本人の年齢別にみると、『15～19歳』及び『60～64歳』を除いた年齢では「収入がない」「社会との接点がないこと」「親族の高齢化（親亡き後の生活）」「就労先がない」が概ね半数以上となっています。一方、『15～19歳』及び『60～64歳』では「本人にどのように関わったらよいか（接し方が）わからない」が他の年齢に比べ回答割合が高くなっています。平均個数は、『40～49歳』が3.76個と最も多くなっている一方、『15～19歳』及び『60～64歳』では3個を下回っています。

【本人】

◆ひきこもり期間別／本人や家族の不安や困りごと

															(%)	《平均個数》
		n	収入がない	自分の将来への不安	親族の高齢化（親亡き後の生活）	社会との接点がないこと	就労先がない	受診などが必要だがうまくいかない	家族とのコミュニケーションが苦痛	家庭内暴力が心配	本人にどのような関わらないか（接し方が）関わらない	わからない	その他	無回答		
全体		56	58.9	53.6	50.0	48.2	42.9	10.7	10.7	3.6	-	3.6	10.7	3.6	3.04個	
ひきこもり期間別	6か月～1年未満	11	54.5	45.5	9.1	45.5	36.4	9.1	-	-	-	-	9.1	9.1	2.30個	
	1～2年	8	37.5	50.0	50.0	25.0	37.5	12.5	12.5	-	-	12.5	-	-	2.38個	
	3～5年	12	66.7	41.7	58.3	41.7	41.7	16.7	8.3	-	-	8.3	16.7	-	3.00個	
	6～9年	9	55.6	33.3	44.4	55.6	33.3	-	11.1	11.1	-	-	11.1	11.1	2.88個	
	10～20年	11	81.8	90.9	90.9	72.7	63.6	18.2	27.3	9.1	-	-	9.1	-	4.64個	
	21年以上	4	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0	-	2.75個	

本人の回答をひきこもり期間別にみると、『1～2年』を除いた年齢では「収入がない」が半数以上となっており、特に、『10～20年』では81.8%と最も高くなっています。また、『10～20年』では5つの項目で半数を超え、特に、「自分の将来への不安」及び「親族の高齢化（親亡き後の生活）」では9割を超えています。平均個数は、『10～20年』が4.64個と最も多くなっている一方、その他の期間は3個以下となっています。

【本人以外】

◆ひきこもり期間別／本人や家族の不安や困りごと

		n	収入がない	社会との接点がないこと	親族の高齢化（親亡き後の生活）	就労先がない	自分への不安	いかに（接し方が）関わらない	本人にどのような関わらない	家族とのコミュニケーションが	家庭内暴力が心配	わからない	その他	無回答	《平均個数》
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		148	62.8	61.5	58.1	49.3	39.9	27.7	13.5	11.5	5.4	1.4	6.8	-	3.38個
ひきこもり期間別	6か月～1年未満	10	30.0	50.0	30.0	20.0	20.0	30.0	20.0	10.0	10.0	-	20.0	-	2.40個
	1～2年	19	57.9	73.7	31.6	47.4	47.4	31.6	26.3	26.3	5.3	5.3	10.5	-	3.63個
	3～5年	35	62.9	57.1	37.1	57.1	48.6	31.4	2.9	8.6	-	-	2.9	-	3.09個
	6～9年	18	72.2	72.2	66.7	66.7	50.0	27.8	22.2	11.1	16.7	-	11.1	-	4.17個
	10～20年	38	65.8	57.9	76.3	39.5	36.8	18.4	10.5	7.9	2.6	-	5.3	-	3.21個
	21年以上	24	75.0	70.8	87.5	62.5	33.3	37.5	16.7	12.5	8.3	-	4.2	-	4.08個

本人以外の回答をひきこもり期間別にみると、「収入がない」及び「社会との接点がないこと」が全ての期間で概ね半数以上となっています。また、『1～2年』では「家族とのコミュニケーションが苦痛」が26.3%と他の期間に比べ回答割合が高くなっており、『6年』以上では「親族の高齢化（親亡き後の生活）」が6割を超えています。平均個数は、『6～9年』及び『21年以上』で4個を超え多くなっている一方、その他の期間は2～3個となっています。

【本人＋本人以外】

◆本人の性別・回答者別／本人や家族の不安や困りごと

															(%)	《平均個数》
		n	収入がない	親族の高齢化（親亡き後の生活）	社会との接点がないこと	就労先がない	自分の将来への不安	本人にどのような関わつたらよいか（接し方が）わからない	受診などが必要だがうまくいかない	家族とのコミュニケーションが苦痛	家庭内暴力が心配	わからない	その他	無回答		
全体		226	60.2	56.2	55.8	45.6	41.6	19.0	13.3	10.6	4.9	1.8	8.4	2.2	3.24個	
本人の性別	男性	133	64.7	62.4	56.4	49.6	38.3	18.8	13.5	9.8	5.3	3.0	6.8	0.8	3.31個	
	女性	72	54.2	47.2	65.3	43.1	50.0	20.8	16.7	13.9	5.6	-	11.1	1.4	3.32個	
	答えたくない	9	77.8	77.8	33.3	44.4	77.8	22.2	-	-	-	-	11.1	-	3.44個	
回答者別	本人	56	58.9	50.0	48.2	42.9	53.6	-	10.7	10.7	3.6	3.6	10.7	3.6	3.04個	
	本人以外	148	62.8	58.1	61.5	49.3	39.9	27.7	13.5	11.5	5.4	1.4	6.8	-	3.38個	
	同居のご家族	127	63.8	61.4	63.8	48.8	40.2	26.8	13.4	11.8	4.7	1.6	6.3	-	3.43個	
	別居のご家族	11	54.5	45.5	54.5	54.5	45.5	45.5	9.1	9.1	9.1	-	9.1	-	3.36個	
	その他	10	60.0	30.0	40.0	50.0	30.0	20.0	20.0	10.0	10.0	-	10.0	-	2.80個	

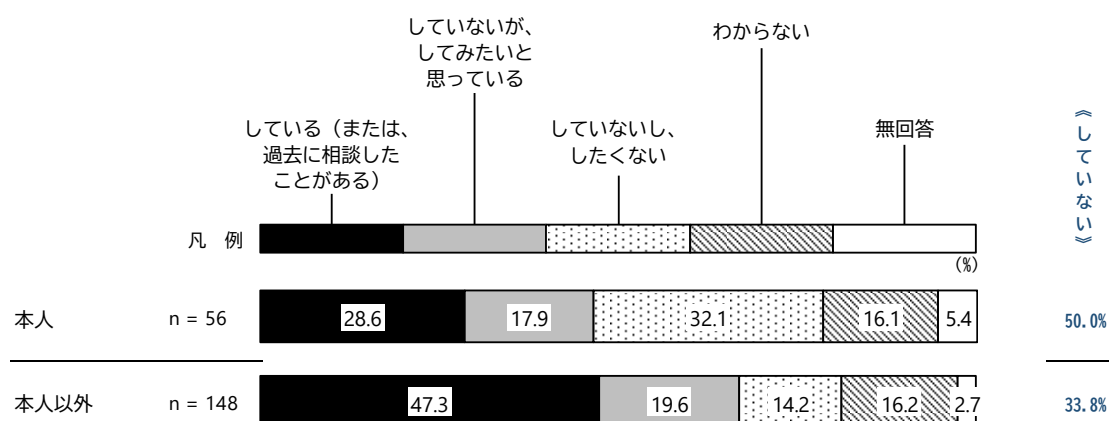
本人の性別にみると、男性では「収入がない」が64.7%と最も高く、次いで「親族の高齢化（親亡き後の生活）」（62.4%）、「社会との接点がないこと」（56.4%）となっています。女性では「社会との接点がないこと」が65.3%と最も高く、次いで「収入がない」（54.2%）、「自分の将来への不安」（50.0%）となっています。男性では「収入がない」及び「親族の高齢化（親亡き後の生活）」が女性に比べ10ポイント以上高くなっている一方、女性では「自分の将来への不安」が男性に比べ11.7ポイント高く、男女での順位に違いがみられます。

回答者別にみると、『別居のご家族』では「本人にどのように関わったらいいか（接し方が）わからない」が『同居のご家族』に比べ回答割合が高くなっています。

4 相談状況について

4-1 相談機関への相談状況

Q10 現在、ご本人またはご家族の方は相談機関に相談をしていますか

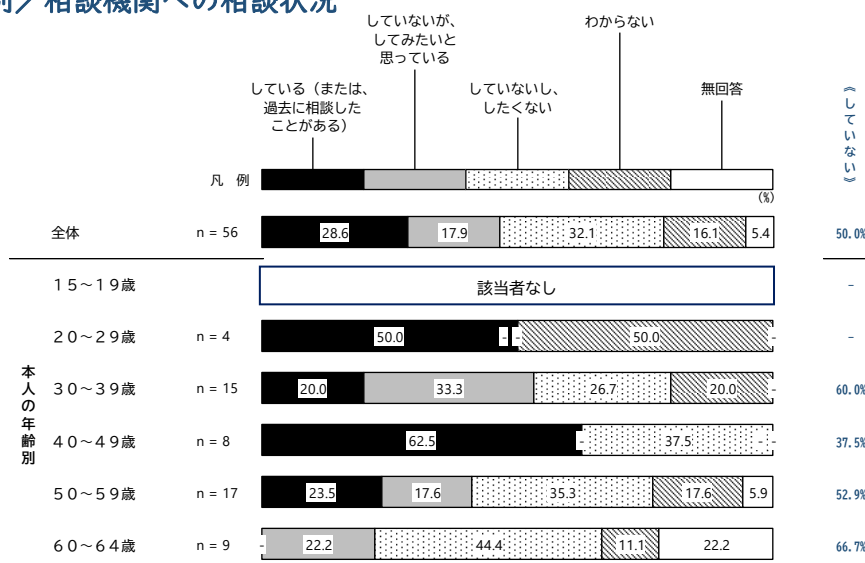


相談機関への相談状況について、本人では「していないし、したくない」が32.1%と最も高く、次いで「している（または、過去に相談したことがある）」(28.6%)、「していないが、してみたいと思っている」(17.9%)となっています。本人以外では「している（または、過去に相談したことがある）」が47.3%と最も高く、次いで「していないが、してみたいと思っている」(19.6%)、「していないし、したくない」(14.2%)となっており、本人の相談状況と順位に違いがみられます。

本人と本人以外の回答を比較すると、本人では「していないし、したくない」が本人以外に比べ17.9ポイント高くなっている一方、本人以外では「している（または、過去に相談したことがある）」が本人に比べ18.7ポイント高くなっています。《していない》（「していないが、してみたいと思っている」＋「していないし、したくない」の合計）が本人では50.0%と半数が相談していない状況となっています。

【本人】

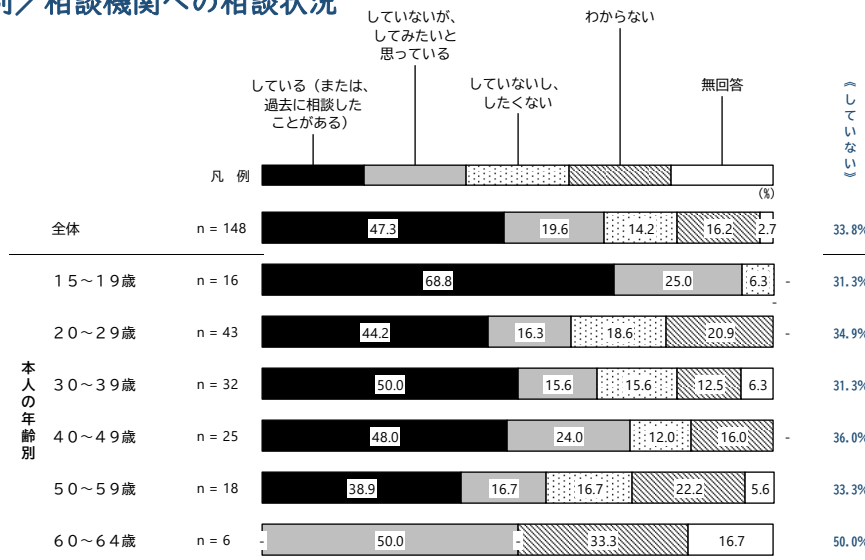
◆本人の年齢別／相談機関への相談状況



本人の回答を年齢別にみると、『30～39歳』では「していないが、してみたいと思っている」が33.3%、『50～59歳』では「していないし、したくない」が35.3%と最も高くなっています。また、「していないが、してみたいと思っている」と「していないし、したくない」の回答比率をみると、年齢が上がるにつれて「していないし、したくない」の回答割合が高くなっています。

【本人以外】

◆本人の年齢別／相談機関への相談状況

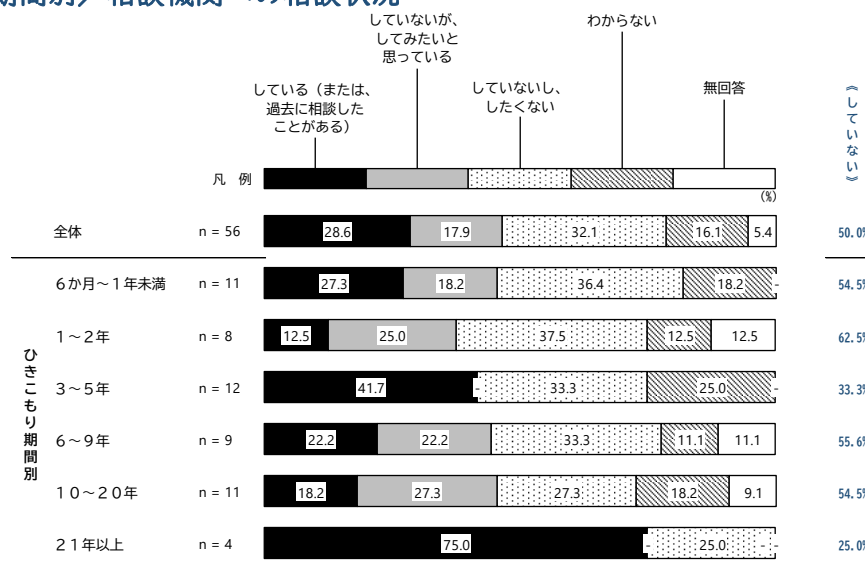


本人以外の回答を本人の年齢別にみると、『60～64歳』を除いた年齢では「している（または、過去に相談したことがある）」が最も高くなっています。また、『20～29歳』では「していないし、したくない」が「していないが、してみたいと思っている」を僅かに上回っています。

また、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、本人、本人以外問わず『60～64歳』では「している（または、過去に相談したことがある）」が皆無となっています。

【本人】

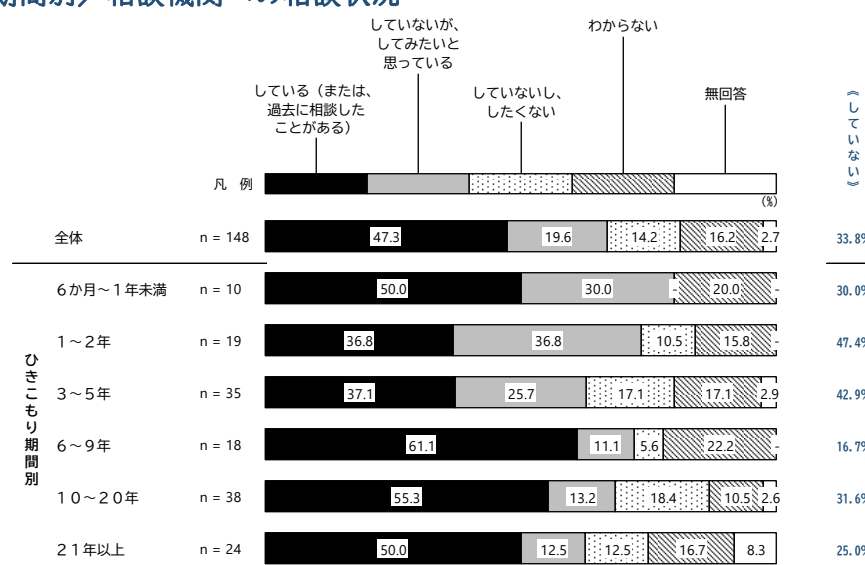
◆ひきこもり期間別／相談機関への相談状況



本人の回答をひきこもり期間別にみると、期間によらず「している（または、過去に相談したことがある）」は3割程度になっています。《していない》は『3～5年』及び『21年以上』を除いた期間で半数を超えています。

【本人以外】

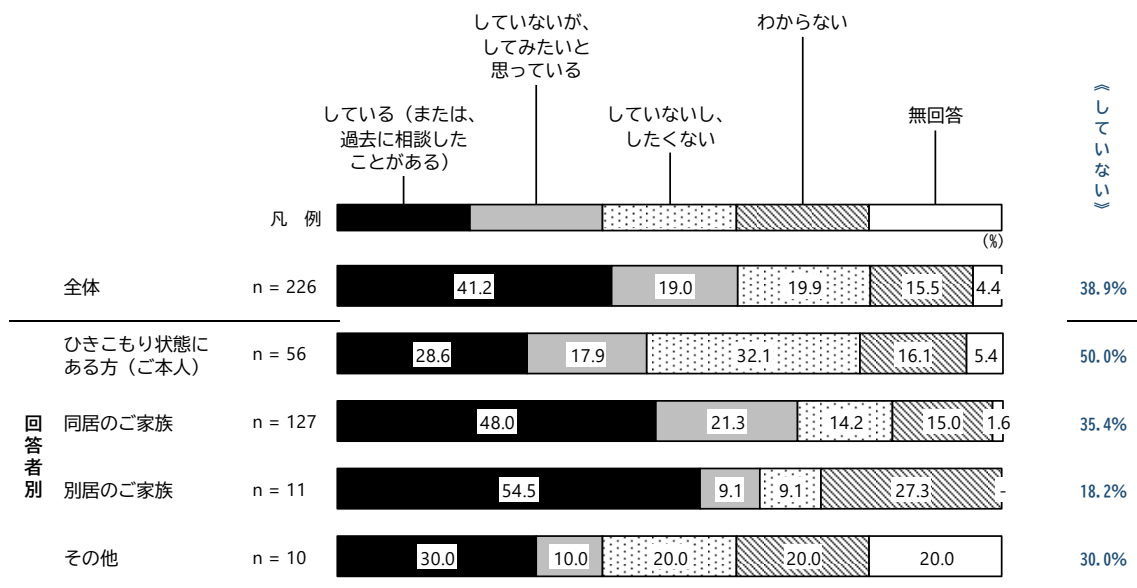
◆ひきこもり期間別／相談機関への相談状況



本人以外の回答をひきこもり期間別にみると、『6か月～5年』では「していないが、してみたいと思っている」が3割程度となっている一方、『6年～21年以上』では同割合が1割程度にとどまり、「している（または、過去に相談したことがある）」の回答割合が半数以上となっています。『1～2年』及び『3～5年』を除いた期間では「している（または、過去に相談したことがある）」が5～6割となっている一方、『1～2年』では「していないが、してみたいと思っている」が「している（または、過去に相談したことがある）」と同率になっています。また、『3～5年』及び『10～20年』では「していないし、したくない」が他の期間に比べやや回答割合が高くなっています。

【本人＋本人以外】

◆回答者別／相談機関への相談状況

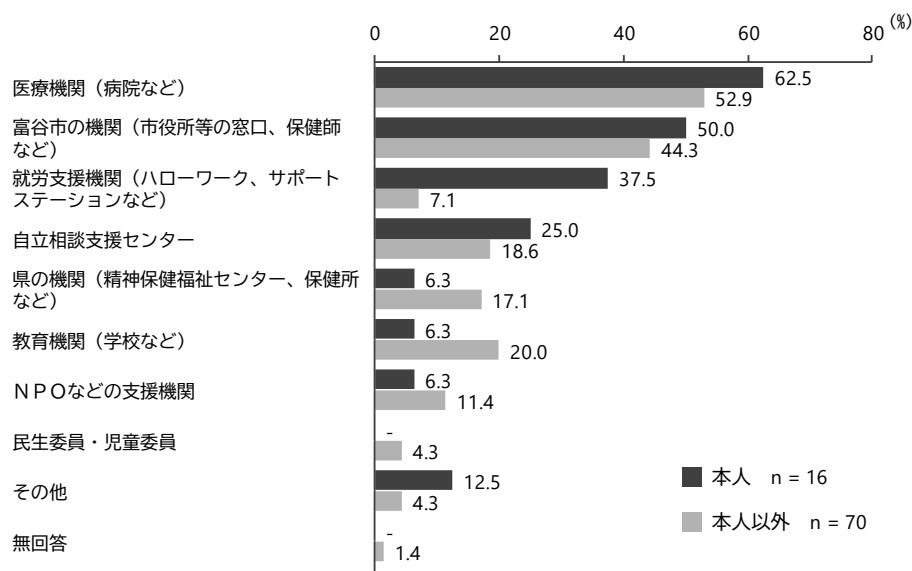


回答者別にみると、『別居のご家族』では「している（または、過去に相談したことがある）」が54.5%と『同居のご家族』に比べ回答割合が高くなっています。

4-2 相談先

【Q10で「している」と回答した方のみお答えください】

Q10-1 どのようなところで相談をしていましたか（複数回答可）



相談先について、本人、本人以外ともに「医療機関（病院など）」（本人：62.5%、本人以外：52.9%）が最も高く、次いで「富谷市の機関（市役所等の窓口、保健師など）」（本人：50.0%、本人以外：44.3%）となっています。第3位は、本人では「就労支援機関（ハローワーク、サポートステーションなど）」（37.5%）、本人以外では「教育機関（学校など）」（20.0%）となっており、第3位は本人の相談先と違いがみられます。

調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、本人と本人以外の回答を比較すると、本人では「就労支援機関（ハローワーク、サポートステーションなど）」が本人以外に比べ 30.4 ポイント高くなっている一方、本人以外では「県の機関（精神保健福祉センター、保健所など）」及び「教育機関（学校など）」が本人に比べ 10 ポイント以上高くなっています。

【本人】

◆本人の年齢別／相談先

		n	医療機関（病院など）	富谷市の機関（市役所等の窓口、保健師など）	就労支援機関（ハローワーク、サポートステーションなど）	自立相談支援センター	県の機関（精神保健福祉センター、保健所など）	教育機関（学校など）	NPOなどの支援機関	民生委員・児童委員	その他	無回答
全体		16	62.5	50.0	37.5	25.0	6.3	6.3	6.3	-	12.5	-
本人の年齢別	15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
	30～39歳	3	66.7	66.7	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-
	40～49歳	5	100.0	60.0	60.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-
	50～59歳	4	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-
	60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

本人が回答の年齢別については、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、全ての年齢で「医療機関（病院など）」の回答割合が高くなっています。

【本人以外】

◆本人の年齢別／相談先

		n	医療機関（病院など）	富谷市の機関（市役所等の窓口、保健師など）	教育機関（学校など）	自立相談支援センター	県の機関（精神保健福祉センター、保健所など）	NPOなどの支援機関	就労支援機関（ハローワーク、サポートステーションなど）	民生委員・児童委員	その他	無回答
全体		70	52.9	44.3	20.0	18.6	17.1	11.4	7.1	4.3	4.3	1.4
本人の年齢別	15～19歳	11	54.5	45.5	63.6	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	19	68.4	42.1	31.6	21.1	15.8	21.1	5.3	-	-	-
	30～39歳	16	43.8	50.0	-	25.0	43.8	25.0	12.5	-	-	-
	40～49歳	12	50.0	41.7	-	16.7	8.3	-	16.7	25.0	8.3	-
	50～59歳	7	28.6	57.1	-	42.9	14.3	-	-	-	28.6	-
	60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

本人以外の回答を本人の年齢別にみると、全ての年齢で「富谷市の機関（市役所等の窓口、保健師など）」が4～5割となっています。『15～19歳』では「教育機関（学校など）」が63.6%、『20～29歳』では「医療機関（病院など）」が68.4%と最も高くなっています。『30～39歳』では「県の機関（精神保健福祉センター、保健所など）」が43.8%と他の年齢に比べ回答割合が高くなっています。

【本人】

◆ひきこもり期間別／相談先

												(%)
		n	医療機関（病院など）	富谷市の機関（市役所等の窓口、保健師など）	就労支援機関（ハローワーク、サポートステーションなど）	自立相談支援センター	県の機関（精神保健福祉センター、保健所など）	教育機関（学校など）	NPOなどの支援機関	民生委員・児童委員	その他	無回答
全体		16	62.5	50.0	37.5	25.0	6.3	6.3	6.3	-	12.5	-
ひきこもり期間別	6か月～1年未満	3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-
	1～2年	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	3～5年	5	60.0	40.0	60.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-
	6～9年	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	10～20年	2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-
	21年以上	3	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-

本人が回答のひきこもり期間別については、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、『3年～21年以上』では「医療機関（病院など）」の回答割合が高くなっています。

【本人以外】

◆ひきこもり期間別／相談先

（％）												
		n	医療機関（病院など）	富谷市の機関（市役所等の窓口、保健師など）	教育機関（学校など）	自立相談支援センター	県の機関（精神保健福祉センター、保健所など）	NPOなどの支援機関	就労支援機関（ハローワーク、サポートステーションなど）	民生委員・児童委員	その他	無回答
全体		70	52.9	44.3	20.0	18.6	17.1	11.4	7.1	4.3	4.3	1.4
ひきこもり期間別	6か月～1年未満	5	80.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0	-
	1～2年	7	57.1	42.9	-	-	-	-	-	-	14.3	-
	3～5年	13	69.2	38.5	38.5	-	7.7	15.4	-	7.7	-	7.7
	6～9年	11	36.4	45.5	36.4	27.3	27.3	18.2	18.2	9.1	-	-
	10～20年	21	52.4	47.6	14.3	33.3	23.8	4.8	9.5	-	-	-
	21年以上	12	41.7	58.3	-	25.0	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3	-

本人以外の回答をひきこもり期間別にみると、『6か月～1年未満』及び『3～5年』では「医療機関（病院など）」が約7～8割と回答割合が高くなっています。また、『21年以上』では「富谷市の機関（市役所等の窓口、保健師など）」が半数を超え、他の期間に比べ回答割合が高くなっています。

【本人＋本人以外】

◆回答者別／相談先

													(%)
		n	医療機関（病院など）	富谷市の機関（市役所等の窓口、保健師など）	自立相談支援センター	教育機関（学校など）	県の機関（精神保健福祉センター、保健所など）	就労支援機関（ハローワーク、サポートステーションなど）	NPOなどの支援機関	民生委員・児童委員	その他	無回答	
全体		93	52.7	48.4	19.4	17.2	14.0	11.8	9.7	4.3	5.4	1.1	
回答者別	ひきこもり状態にある方（ご本人）	16	62.5	50.0	25.0	6.3	6.3	37.5	6.3	-	12.5	-	
	同居のご家族	61	54.1	45.9	18.0	21.3	19.7	8.2	13.1	3.3	4.9	-	
	別居のご家族	6	66.7	33.3	33.3	16.7	-	-	-	-	-	-	
	その他	3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	

回答者別にみると、『ひきこもり状態にある方(ご本人)』では「就労支援機関(ハローワーク、サポートステーションなど)」が37.5%と第3位の回答割合となっています。調査数(n)が少ないため参考値としての掲載になりますが、『別居のご家族』では「自立相談支援センター」が他の回答者に比べ回答割合が高くなっています。

4-3 相談したい（支援してもらいたい）内容

【Q10で「していないが、してみたいと思っている」と回答した方のみお答えください】

Q10-2 相談したい（支援してもらいたい）内容をお聞かせください（自由記載）

【本人】

- ・大和町ではなく富谷市にハローワークの様な場所が必要（女性／50代）
- ・ボランティア等してみたい（女性／60代）
- ・職場外で交流出来る機会が欲しい（男性／50代）
- ・就職の相談、メンタルの相談（女性／30代）
- ・相談したい（支援してもらいたい）が、どうしたら良いかさえ分からない（男性／30代）

など

※回答者数：8人（「特にない」などの回答は除く）

相談したい（支援してもらいたい）内容について本人では、就労や社会とのかかわりを持つきっかけの相談の意見がみられました。

【本人以外】（）：本人以外の回答者の性／年代、[]：本人の性／年代

- ・就労先について（女性／65歳以上）[男性／40代]
- ・専門家のカウンセリングを受けてみたい（女性／50代）[男性／20代]
- ・現状から今後自立させる為の相談（男性／65歳以上）[男性／50代]
- ・相談したいが、本人は無駄だと言っている（女性／50代）[女性／20代]
- ・出かけることもあるので、「ひきこもり」として相談していいのか。どこに、何と言ったらいいのかわからない。また、本人に相談の意志がみられない（女性／60代）[女性／20代]
- ・本人は社会との関わりが病気でなかなか取れないが、将来を考えると不安しかない。相談や支援を受ける方法が分からないし人に話し難い（男性／65歳以上）[男性／30代]
- ・ひきこもり改善のきっかけ。通信高校に在籍しているが、スクーリングに行けないため卒業できず、目標がなくなっている（男性／50代）[男性／10代]
- ・働かせるにはどうしたらよいか。自分の都合の悪い話になると部屋に行ってしまい会話が成立しなくなる。普段は普通に会話している。（男性／50代）[男性／10代]
- ・就職先を見つけるも長続きしない。友達がいない（女性／50代）[男性／20代]

など

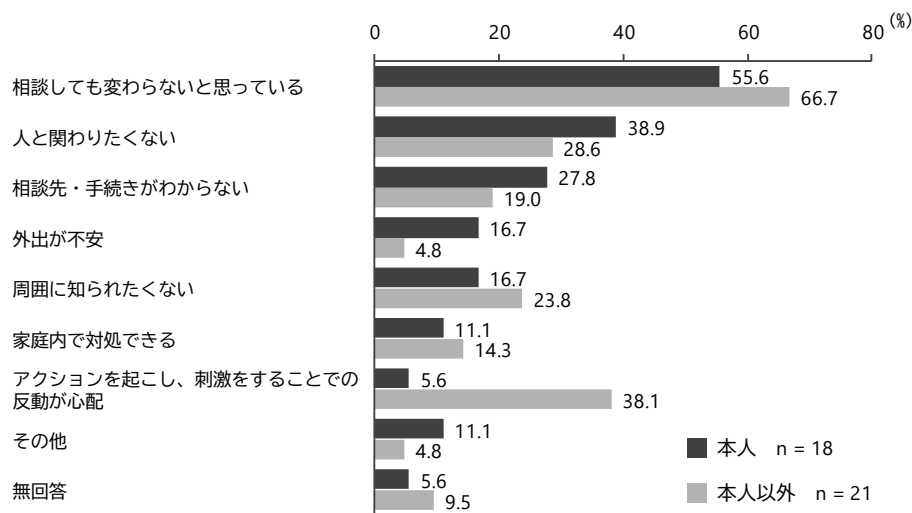
※回答者数：19人（「特にない」などの回答は除く）

相談したい（支援してもらいたい）内容について本人以外では、本人の不登校や就労の相談、自立支援の相談が多くなっています。

4-4 相談していない、したくない理由

【Q10で「していないし、したくない」と回答した方のみお答えください】

Q10-3 その理由をお聞かせください（複数回答可）



相談をしていない、したくない理由について、本人、本人以外ともに「相談しても変わらないと思っている」（本人：55.6%、本人以外：66.7%）と最も高く、次いで、本人では「人と関わりたくない」（38.9%）、「相談先・手続きがわからない」（27.8%）となっています。本人以外では「アクションを起こし、刺激をすることでの反動が心配」（38.1%）、「人と関わりたくない」（28.6%）となっており、第2位及び第3位は本人の理由と順位や項目に違いがみられます。

本人と本人以外の回答を比較すると、本人では「人と関わりたくない」及び「外出が不安」が本人以外に比べ10ポイント以上高くなっている一方、本人以外では「相談しても変わらないと思っている」が11.1ポイント、「アクションを起こし、刺激をすることでの反動が心配」が本人に比べ32.5ポイント高くなっています。

【本人】

◆本人の年齢別／相談していない、したくない理由

(%)

		n	相談しても変わらないと思っている	人と関わりたくない	相談先・手続きがわからない	外出が不安	周囲に知られたくない	家庭内で対処できる	アクションを起こし、刺激をすることでの反動が心配	その他	無回答
全体		18	55.6	38.9	27.8	16.7	16.7	11.1	5.6	11.1	5.6
本人の年齢別	15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30～39歳	4	75.0	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-
	40～49歳	3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-
	50～59歳	6	50.0	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	-
	60～64歳	4	50.0	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-

本人が回答の年齢別については、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、『15～29歳』を除く全ての年齢で「相談しても変わらないと思っている」に回答がみられ、半数以上の回答割合となっています。

【本人以外】

◆本人の年齢別／相談していない、したくない理由

(%)

		n	相談しても変わらないと思っている	アクションを起こし、刺激をすることでの反動が心配	人と関わりたくない	周囲に知られたくない	相談先・手続きがわからない	家庭内で対処できる	外出が不安	その他	無回答
全体		21	66.7	38.1	28.6	23.8	19.0	14.3	4.8	4.8	9.5
本人の年齢別	15～19歳	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-
	20～29歳	8	50.0	50.0	25.0	37.5	37.5	12.5	-	12.5	12.5
	30～39歳	5	80.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-
	40～49歳	3	100.0	-	66.7	-	-	-	-	-	-
	50～59歳	3	66.7	66.7	-	33.3	-	33.3	-	-	-
	60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

本人以外が回答の本人の年齢別についても、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、『60～64歳』を除く全ての年齢で「相談しても変わらないと思っている」に回答がみられ、半数以上の回答割合となっています。

【本人】

◆ひきこもり期間別／相談していない、したくない理由

(%)

	n	相談しても変わらないと思っ て	人と関わりたくない	相談先・手続きがわからない	外出が不安	周囲に知られたくない	家庭内で対処できる	アクションを起こし、刺激を 受ける	その他	無 回 答
全体	18	55.6	38.9	27.8	16.7	16.7	11.1	5.6	11.1	5.6
ひきこもり 期間別	6か月～1年未満	4	75.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-	25.0
	1～2年	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3
	3～5年	4	50.0	75.0	-	25.0	-	25.0	-	-
	6～9年	3	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-
	10～20年	3	66.7	-	66.7	33.3	-	33.3	33.3	-
	21年以上	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-

本人が回答のひきこもり期間別については、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、『21年以上』を除く全ての期間で「相談しても変わらないと思っている」に回答がみられ、概ね半数以上の回答割合となっています。

【本人以外】

◆ひきこもり期間別／相談していない、したくない理由

(%)

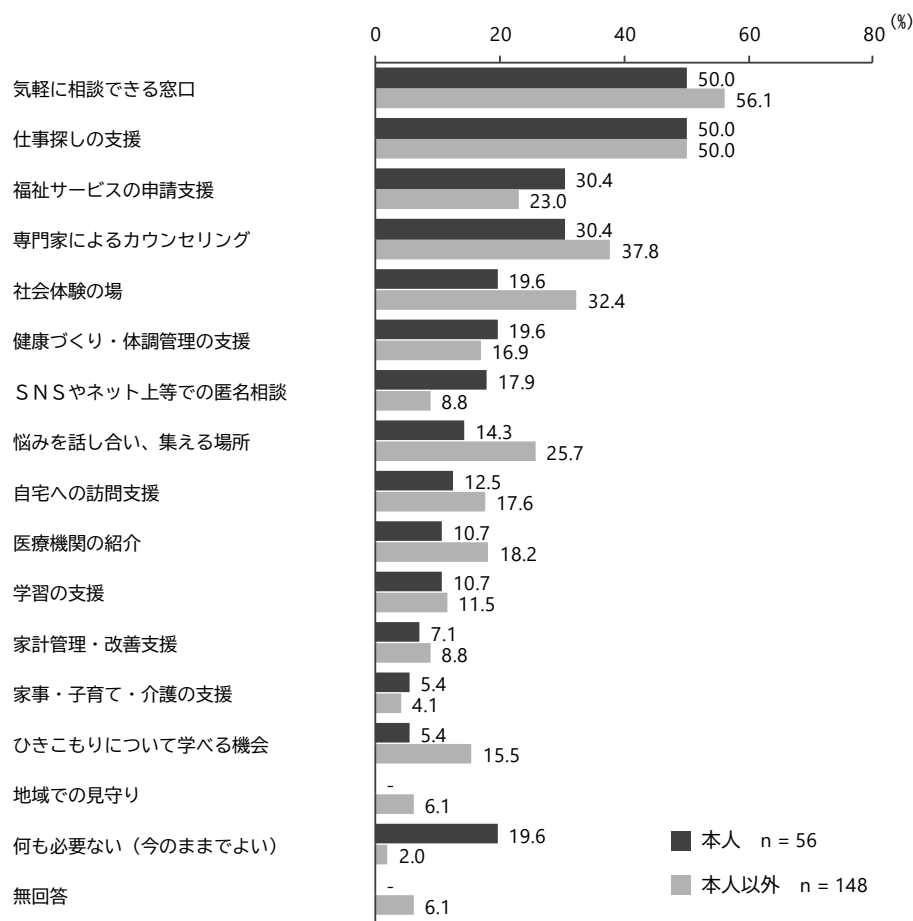
	n	相談しても変わらないと思っ て	アクションを起こし、刺激を 受ける	人と関わりたくない	周囲に知られたくない	相談先・手続きがわからない	家庭内で対処できる	外出が不安	その他	無 回 答
全体	21	66.7	38.1	28.6	23.8	19.0	14.3	4.8	4.8	9.5
ひきこもり 期間別	6か月～1年未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1～2年	2	100.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-
	3～5年	6	66.7	50.0	33.3	33.3	16.7	-	-	16.7
	6～9年	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-
	10～20年	7	42.9	71.4	14.3	28.6	14.3	-	14.3	-
	21年以上	3	100.0	-	33.3	-	-	-	-	-

本人以外が回答のひきこもり期間別については、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、全ての期間で「相談しても変わらないと思っている」に回答がみられました。

5 ひきこもり支援について

5-1 どのようなサポートがあると良いか

Q11 どのようなサポートがあると良いと考えますか（複数回答可）



どのようなサポートがあると良いと考えるかについて、本人、本人以外ともに「気軽に相談できる窓口」（本人：50.0%、本人以外：56.1%）が最も高くなっています。本人では同順で「仕事探しの支援」も50.0%と最も高く、次いで「福祉サービスの申請支援」及び「専門家によるカウンセリング」（いずれも30.4%）となっています。本人以外では「仕事探しの支援」（50.0%）、「専門家によるカウンセリング」（37.8%）となっています。

本人と本人以外の回答を比較すると、本人では「何も必要ない（今のままでよい）」が本人以外に比べ17.6ポイント高くなっている一方、本人以外では「社会体験の場」、「悩みを話し合い、集える場所」及び「ひきこもりについて学べる機会」が本人に比べ10ポイント以上高くなっています。

【本人】

◆本人の年齢別／どのようなサポートがあると良いか

		n	気軽に相談できる窓口	仕事探しの支援	福祉サービスの申請支援	専門家によるカウンセリング	社会体験の場	健康づくり・体調管理の支援	談話SNSやネット上等での匿名相談	悩みを話し合い、集える場所	自宅への訪問支援	医療機関の紹介	学習の支援	家計管理・改善支援	家事・子育て・介護の支援	ひきこもりについて学べる機会	地域での見守り	いもも必要ない（今のままでよい）	無回答	(%)
全体		56	50.0	50.0	30.4	30.4	19.6	19.6	17.9	14.3	12.5	10.7	10.7	7.1	5.4	5.4	-	19.6	-	
本人の年齢別	15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	4	50.0	50.0	-	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	50.0	-	
	30～39歳	15	66.7	86.7	40.0	53.3	46.7	26.7	13.3	13.3	-	20.0	20.0	13.3	13.3	-	-	6.7	-	
	40～49歳	8	62.5	37.5	37.5	75.0	12.5	50.0	50.0	37.5	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-	
	50～59歳	17	35.3	52.9	41.2	11.8	5.9	17.6	17.6	-	11.8	5.9	-	5.9	-	11.8	-	23.5	-	
	60～64歳	9	55.6	11.1	11.1	-	-	-	-	33.3	11.1	11.1	-	-	-	-	-	11.1	-	

本人の回答を年齢別にみると、『50～59歳』を除いた年齢では「気軽に相談できる窓口」が半数以上となっています。また、「気軽に相談できる窓口」及び「仕事探しの支援」では全ての年齢で回答がみられました。

【本人以外】

◆本人の年齢別／どのようなサポートがあると良いか

		n	気軽に相談できる窓口	仕事探しの支援	専門家によるカウンセリング	社会体験の場	悩みを話し合い、集える場所	福祉サービスの申請支援	医療機関の紹介	自宅への訪問支援	健康づくり・体調管理の支援	ひきこもりについて学べる機会	学習の支援	家計管理・改善支援	談話SNSやネット上等での匿名相談	地域での見守り	家事・子育て・介護の支援	いもも必要ない（今のままでよい）	無回答	(%)
全体		148	56.1	50.0	37.8	32.4	25.7	23.0	18.2	17.6	16.9	15.5	11.5	8.8	8.8	6.1	4.1	2.0	6.1	
本人の年齢別	15～19歳	16	75.0	31.3	56.3	43.8	43.8	18.8	18.8	18.8	25.0	31.3	56.3	18.8	12.5	12.5	6.3	6.3	6.3	
	20～29歳	43	51.2	65.1	39.5	51.2	25.6	20.9	16.3	11.6	18.6	16.3	11.6	9.3	7.0	9.3	-	-	2.3	
	30～39歳	32	65.6	59.4	50.0	28.1	37.5	40.6	28.1	18.8	15.6	18.8	3.1	12.5	12.5	6.3	6.3	-	3.1	
	40～49歳	25	56.0	40.0	40.0	32.0	24.0	16.0	20.0	24.0	20.0	8.0	4.0	4.0	8.0	-	4.0	-	4.0	
	50～59歳	18	50.0	38.9	16.7	5.6	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	-	-	5.6	5.6	-	-	11.1	
	60～64歳	6	50.0	33.3	16.7	-	-	33.3	-	33.3	16.7	16.7	-	-	16.7	-	16.7	16.7	16.7	

本人以外の回答を本人の年齢別にみると、全ての年齢で「気軽に相談できる窓口」が半数以上となっています。また、『15～19歳』では「学習の支援」、『20～29歳』及び『30～39歳』では「仕事探しの支援」が約6割と他の年齢に比べ回答割合が高くなっています。

【本人】

◆ひきこもり期間別／どのようなサポートがあると良いか

		n	気軽に相談できる窓口	仕事探しの支援	福祉サービスの申請支援	専門家によるカウンセリング	社会体験の場	健康づくり・体調管理の支援	SNSやネット上での匿名相談	悩みを話し合い、集える場所	自宅への訪問支援	医療機関の紹介	学習の支援	家計管理・改善支援	家事・子育て・介護の支援	ひきこもりについて学べる機会	地域での見守り	いも必要ない（今のままでよい）	無回答	(%)
全体		56	50.0	50.0	30.4	30.4	19.6	19.6	17.9	14.3	12.5	10.7	10.7	7.1	5.4	5.4	-	19.6	-	
ひきこもり期間別	6か月～1年未満	11	18.2	45.5	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	-	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	-	36.4	-	
	1～2年	8	50.0	50.0	37.5	25.0	-	25.0	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-	12.5	-	-	-	
	3～5年	12	41.7	33.3	25.0	25.0	-	8.3	8.3	-	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	-	-	41.7	-	
	6～9年	9	66.7	66.7	22.2	-	44.4	22.2	11.1	22.2	11.1	22.2	33.3	11.1	-	-	-	-	-	
	10～20年	11	81.8	63.6	63.6	72.7	45.5	36.4	45.5	36.4	18.2	9.1	-	9.1	9.1	9.1	-	9.1	-	
	21年以上	4	25.0	50.0	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	

本人の回答をひきこもり期間別にみると、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、『10年～21年以上』では「専門家によるカウンセリング」が7割を超えており、他の期間に比べ回答割合が高くなっています。

【本人以外】

◆ひきこもり期間別／どのようなサポートがあると良いか

		n	気軽に相談できる窓口	仕事探しの支援	専門家によるカウンセリング	社会体験の場	悩みを話し合い、集える場所	福祉サービスの申請支援	医療機関の紹介	自宅への訪問支援	健康づくり・体調管理の支援	ひきこもりについて学べる機会	学習の支援	家計管理・改善支援	SNSやネット上での匿名相談	地域での見守り	家事・子育て・介護の支援	いも必要ない（今のままでよい）	無回答	(%)
全体		148	56.1	50.0	37.8	32.4	25.7	23.0	18.2	17.6	16.9	15.5	11.5	8.8	8.8	6.1	4.1	2.0	6.1	
ひきこもり期間別	6か月～1年未満	10	70.0	30.0	30.0	30.0	10.0	20.0	10.0	-	10.0	10.0	30.0	10.0	-	-	-	-	10.0	
	1～2年	19	73.7	57.9	52.6	52.6	36.8	42.1	21.1	21.1	21.1	26.3	10.5	10.5	26.3	10.5	10.5	5.3	-	
	3～5年	35	45.7	57.1	37.1	28.6	22.9	11.4	14.3	14.3	22.9	17.1	11.4	5.7	11.4	2.9	2.9	-	8.6	
	6～9年	18	66.7	55.6	61.1	27.8	33.3	16.7	27.8	27.8	11.1	22.2	16.7	16.7	-	-	5.6	-	-	
	10～20年	38	52.6	57.9	26.3	28.9	21.1	28.9	21.1	13.2	15.8	10.5	10.5	10.5	7.9	15.8	5.3	5.3	5.3	
	21年以上	24	54.2	29.2	37.5	33.3	29.2	20.8	12.5	29.2	16.7	12.5	-	4.2	4.2	-	-	-	8.3	

本人以外の回答をひきこもり期間別にみると、全ての期間で本人の回答に比べ全体的に回答割合が高い項目が多くなっています。

【本人＋本人以外】

◆回答者別／どのようなサポートがあると良いか

		n	気軽に相談できる窓口	仕事探しの支援	専門家によるカウンセリング	社会体験の場	福祉サービスの申請支援	悩みを話し合い、集える場所	自宅への訪問支援	医療機関の紹介	健康づくり・体調管理の支援	ひきこもりについて学べる機会	SNSやネット上等での匿名相談	学習の支援	家計管理・改善支援	地域での見守り	家事・子育て・介護の支援	い（何）も必要ない（今のままでよい）	無回答
全体		226	52.2	47.8	33.6	27.9	23.0	22.6	15.9	15.9	15.9	11.9	11.5	10.2	8.4	5.3	4.0	7.1	5.8
回答者別	ひきこもり状態にある方（ご本人）	56	50.0	50.0	30.4	19.6	30.4	14.3	12.5	10.7	19.6	5.4	17.9	10.7	7.1	-	5.4	19.6	-
	同居のご家族	127	58.3	51.2	39.4	33.1	26.0	27.6	14.2	16.5	17.3	16.5	8.7	11.8	10.2	5.5	4.7	1.6	4.7
	別居のご家族	11	54.5	45.5	18.2	36.4	9.1	18.2	36.4	27.3	18.2	9.1	9.1	18.2	-	9.1	-	-	18.2
	その他	10	30.0	40.0	40.0	20.0	-	10.0	40.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-	-	10.0	-	10.0	10.0

回答者別にみると、『その他』を除いた回答者では「気軽に相談できる窓口」及び「仕事探しの支援」が概ね半数以上となっています。一方、『ひきこもり状態にある方（ご本人）』では「SNSやネット上等での匿名相談」が『同居のご家族』及び『別居のご家族』に比べ約10ポイント高くなっています。『同居のご家族』では「専門家によるカウンセリング」が21.2ポイント、「福祉サービスの申請支援」が16.9ポイント『別居のご家族』に比べ高く、『別居のご家族』では「自宅への訪問支援」が22.2ポイント、「医療機関の紹介」が10.3ポイント『同居のご家族』に比べ高くなっています。

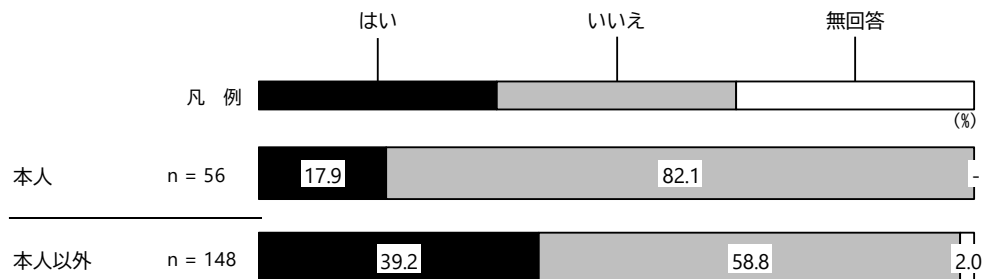
◆相談機関への相談状況別／どのようなサポートがあると良いか

																			(%)
	n	気軽に相談できる窓口	仕事探しの支援	専門家によるカウンセリング	社会体験の場	福祉サービスの申請支援	悩みを話し合い、集える場所	自宅への訪問支援	医療機関の紹介	健康づくり・体調管理の支援	ひきこもりについて学べる機会	匿名相談	SNSやネット上等での匿名相談	学習の支援	家計管理・改善支援	地域での見守り	家事・子育て・介護の支援	何も必要ない (今のままでよい)	無回答
全体	226	52.2	47.8	33.6	27.9	23.0	22.6	15.9	15.9	15.9	11.9	11.5	10.2	8.4	5.3	4.0	7.1	5.8	
相談機関への 相談状況別	している（または、過去に相談したことがある）	93	55.9	50.5	43.0	35.5	30.1	36.6	24.7	22.6	20.4	18.3	8.6	16.1	11.8	6.5	2.2	4.3	3.2
	していないが、してみたいと思っている	43	69.8	62.8	41.9	25.6	20.9	20.9	11.6	9.3	20.9	11.6	14.0	7.0	7.0	2.3	2.3	2.3	2.3
	していないし、したくない	45	33.3	51.1	15.6	22.2	15.6	6.7	4.4	13.3	11.1	4.4	22.2	8.9	8.9	6.7	4.4	15.6	4.4
	わからない	35	48.6	28.6	25.7	25.7	22.9	8.6	11.4	11.4	8.6	5.7	5.7	2.9	2.9	5.7	11.4	5.7	8.6

相談機関への相談状況別にみると、『している（または、過去に相談したことがある）』人では「悩みを話し合い、集える場所」が36.6%と全体に比べ14.0ポイント高くなっています。『していないが、してみたいと思っている』人では「気軽に相談できる窓口」及び「仕事探しの支援」が6割を超え、最も高くなっています。一方、『していないし、したくない』人では「SNSやネット上等での匿名相談」が22.2%と、全体に比べ10.7ポイント高くなっています。

5-2 富谷市のひきこもり支援の認知

Q12 富谷市がひきこもり相談窓口を設置していることや、医師相談会、訪問等による個別支援を実施していることを知っていますか

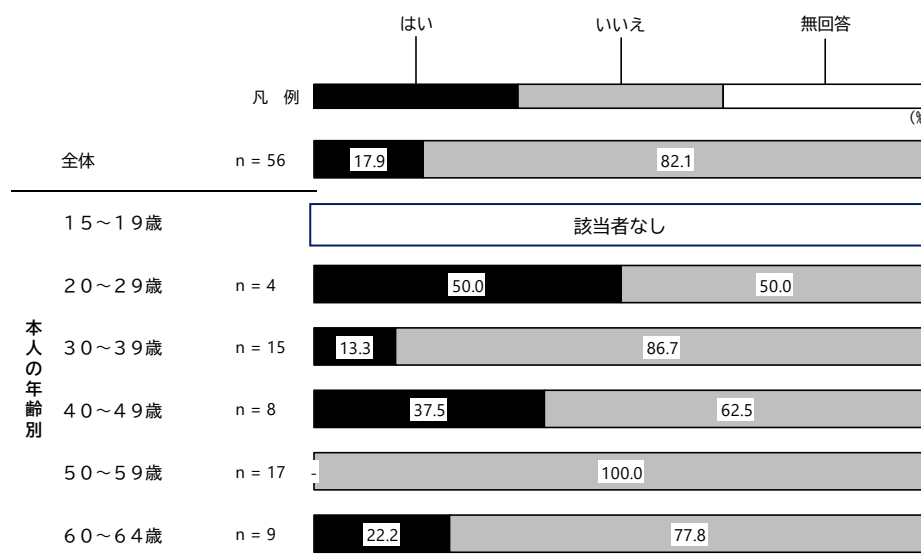


富谷市のひきこもり支援の認知について、本人、本人以外ともに「はい」（本人：17.9%、本人以外：39.2%）が「いいえ」（本人：82.1%、本人以外：58.8%）に比べ回答割合が低くなっています。

本人と本人以外の回答を比較すると、本人では「いいえ」が本人以外に比べ 23.3 ポイント高くなっている一方、本人以外では「はい」が本人に比べ 21.3 ポイント高くなっています。

【本人】

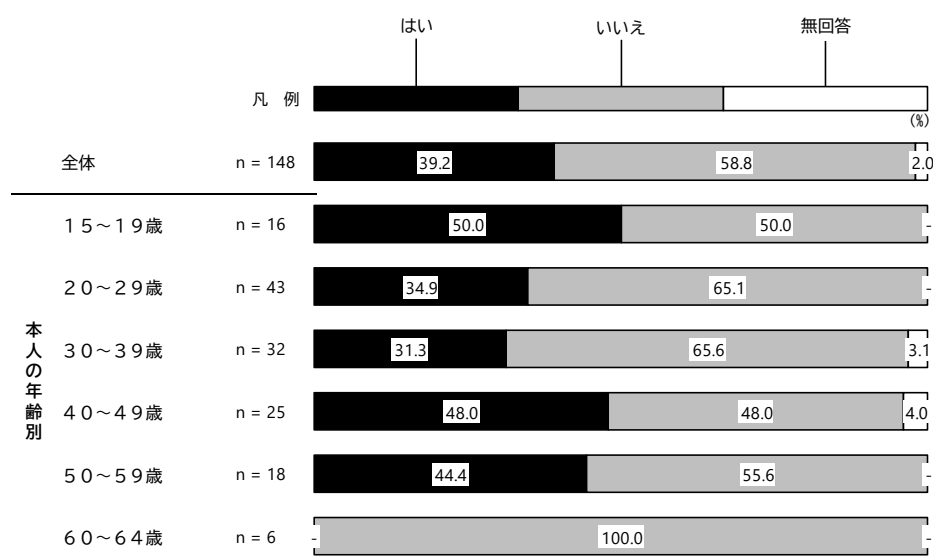
◆本人の年齢別／富谷市のひきこもり支援の認知



本人の回答を年齢別にみると、概ね全ての年齢で「はい」に比べ「いいえ」の回答割合が高くなっており、特に、『50～59歳』では回答者全員が「いいえ」と回答し、本人の認知が低いことがうかがえます。

【本人以外】

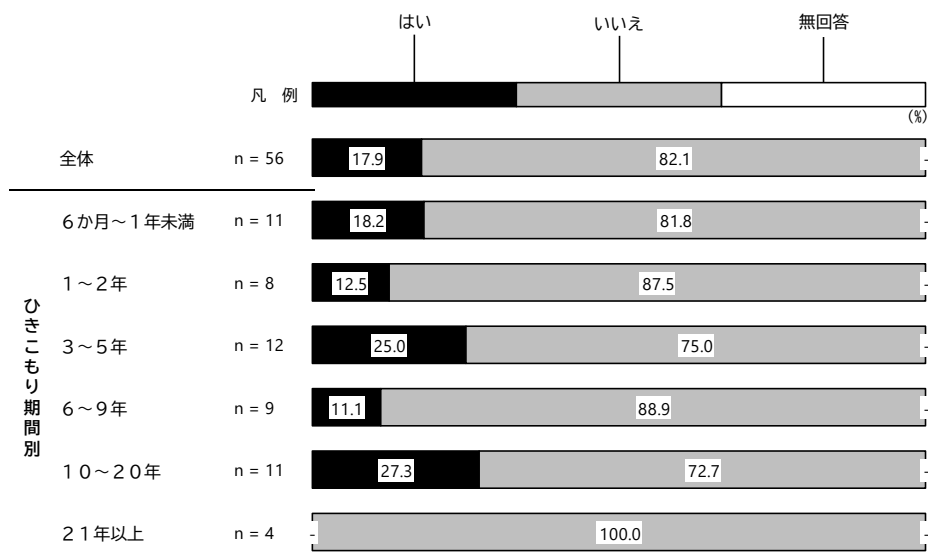
◆本人の年齢別／富谷市のひきこもり支援の認知



本人以外の回答を本人の年齢別にみると、『20～39歳』では「はい」が3割台と他の年齢に比べ回答割合が低くなっています。

【本人】

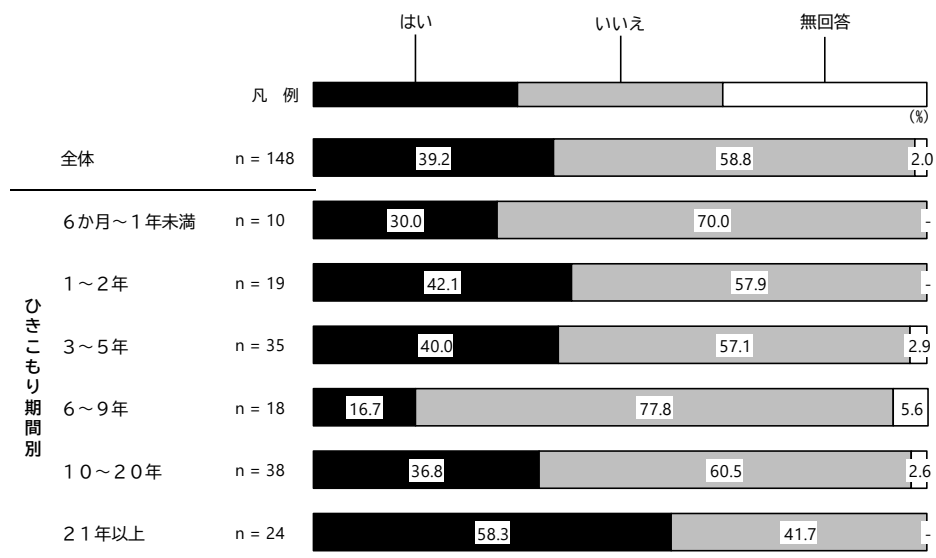
◆ひきこもり期間別／富谷市のひきこもり支援の認知



本人の回答をひきこもり期間別にみると、「はい」は1～2割にとどまっており、全ての期間で「いいえ」の回答割合が高く、認知の低さがうかがえます。

【本人以外】

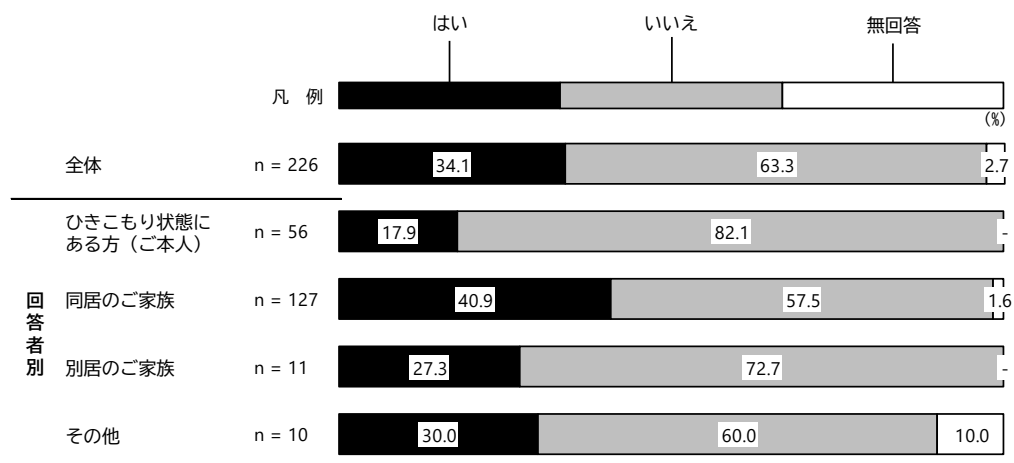
◆ひきこもり期間別／富谷市のひきこもり支援の認知



本人以外の回答をひきこもり期間別にみると、『21年以上』を除いた期間では「はい」が「いいえ」を下回っています。一方、『21年以上』では「はい」が58.3%と唯一半数を超えています。

【本人＋本人以外】

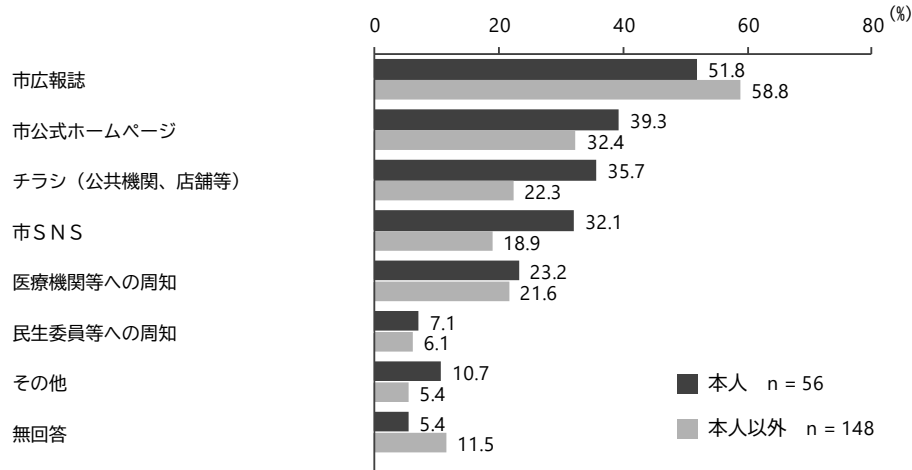
◆回答者別／富谷市のひきこもり支援の認知



回答者別にみると、『同居のご家族』では「はい」が『ひきこもり状態にある方（ご本人）』に比べ 23.0 ポイント高くなっており、本人の認知が低いことがうかがえます。また、『別居のご家族』では「はい」が『同居のご家族』に比べ 13.6 ポイント低くなっています。

5-3 本人や家族へ届きやすいと考える情報提供の方法

Q13 相談支援に関する情報提供をする場合、どのような形だとご本人やその家族へ届きやすいと思いますか（複数回答可）



本人や家族へ届きやすいと思う情報提供の方法について、本人、本人以外ともに「市広報誌」（本人：51.8%、本人以外：58.8%）が最も高く、次いで「市公式ホームページ」（本人：39.3%、本人以外：32.4%）、「チラシ（公共機関、店舗等）」（本人：35.7%、本人以外：22.3%）となっています。

本人と本人以外の回答を比較すると、本人では「チラシ（公共機関、店舗等）」及び「市SNS」が本人以外に比べ10ポイント以上高くなっています。

【本人】

◆本人の年齢別／本人や家族へ届きやすいと考える情報提供の方法

(%)

	n	市広報誌	市公式ホームページ	チラシ（公共機関、店舗等）	市SNS	医療機関等への周知	民生委員等への周知	その他	無回答
全体	56	51.8	39.3	35.7	32.1	23.2	7.1	10.7	5.4
本人の年齢別	15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	4	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0	-	-
	30～39歳	15	53.3	66.7	53.3	40.0	13.3	6.7	20.0
	40～49歳	8	50.0	62.5	50.0	62.5	37.5	-	25.0
	50～59歳	17	52.9	29.4	29.4	23.5	29.4	5.9	5.9
	60～64歳	9	55.6	11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	-

本人の回答を本人の年齢別にみると、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、『30歳～64歳以上』の中年層～高齢層では「市広報誌」の回答割合が高く、『20～49歳』の若年層～中年層では「チラシ（公共機関、店舗等）」の回答割合が高くなっています。

【本人以外】

◆本人の年齢別／本人や家族へ届きやすいと考える情報提供の方法

(%)

	n	市広報誌	市公式ホームページ	チラシ（公共機関、店舗等）	医療機関等への周知	市SNS	民生委員等への周知	その他	無回答
全体	148	58.8	32.4	22.3	21.6	18.9	6.1	5.4	11.5
本人の年齢別	15～19歳	16	68.8	50.0	25.0	37.5	43.8	-	-
	20～29歳	43	65.1	44.2	23.3	11.6	23.3	4.7	9.3
	30～39歳	32	71.9	31.3	28.1	18.8	12.5	-	6.3
	40～49歳	25	40.0	24.0	16.0	28.0	24.0	16.0	-
	50～59歳	18	55.6	16.7	16.7	22.2	5.6	11.1	-
	60～64歳	6	33.3	16.7	33.3	33.3	-	-	16.7

本人以外の回答を本人の年齢別にみると、『15～39歳』では「市広報誌」が6割を超え、『40～64歳以上』に比べ回答割合が高くなっています。また、『15～19歳』では「市SNS」が43.8%と他の年齢に比べ回答割合が高くなっています。「市公式ホームページ」は年齢が下がるにつれて回答割合が高くなっています。

【本人】

◆ひきこもり期間別／本人や家族へ届きやすいと考える情報提供の方法

(%)

		n	市広報誌	市公式ホームページ	チラシ（公共機関、店舗等）	市SNS	医療機関等への周知	民生委員等への周知	その他	無回答
全体		56	51.8	39.3	35.7	32.1	23.2	7.1	10.7	5.4
ひきこもり期間別	6か月～1年未満	11	45.5	36.4	9.1	18.2	27.3	9.1	-	9.1
	1～2年	8	62.5	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	-	-
	3～5年	12	41.7	50.0	50.0	41.7	25.0	8.3	25.0	8.3
	6～9年	9	77.8	44.4	33.3	22.2	11.1	-	-	11.1
	10～20年	11	45.5	63.6	63.6	36.4	27.3	9.1	18.2	-
	21年以上	4	25.0	-	25.0	50.0	50.0	-	25.0	-

本人の回答をひきこもり期間別にみると、『6か月～20年』ではいずれも上位3項目のいずれかに回答が集中しています。

【本人以外】

◆ひきこもり期間別／本人や家族へ届きやすいと考える情報提供の方法

(%)

		n	市広報誌	市公式ホームページ	チラシ（公共機関、店舗等）	医療機関等への周知	市SNS	民生委員等への周知	その他	無回答
全体		148	58.8	32.4	22.3	21.6	18.9	6.1	5.4	11.5
ひきこもり期間別	6か月～1年未満	10	90.0	30.0	40.0	10.0	-	-	-	-
	1～2年	19	68.4	47.4	26.3	36.8	15.8	5.3	-	5.3
	3～5年	35	54.3	51.4	20.0	25.7	34.3	2.9	8.6	5.7
	6～9年	18	55.6	22.2	16.7	11.1	27.8	11.1	5.6	27.8
	10～20年	38	65.8	23.7	23.7	18.4	13.2	5.3	5.3	7.9
	21年以上	24	33.3	16.7	16.7	25.0	12.5	12.5	4.2	25.0

本人以外の回答をひきこもり期間別にみると、『21年以上』を除いた期間では「市広報誌」が半数を超え、回答割合が高くなっています。

【本人＋本人以外】

◆回答者別／本人や家族へ届きやすいと考える情報提供の方法

(%)

		n	市 広 報 誌	市 公 式 ホ ー ム ペ ー ジ	チ ラ シ （ 公 共 機 関 、 店 舗 等 ）	市 S N S	医 療 機 関 等 へ の 周 知	民 生 委 員 等 へ の 周 知	そ の 他	無 回 答
全体		226	53.5	31.9	25.2	21.2	21.2	6.6	6.6	12.8
回 答 者 別	ひきこもり状態にある方（ご本人）	56	51.8	39.3	35.7	32.1	23.2	7.1	10.7	5.4
	同居のご家族	127	61.4	31.5	24.4	18.9	21.3	3.9	5.5	11.0
	別居のご家族	11	54.5	45.5	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1	-
	その他	10	30.0	30.0	10.0	20.0	30.0	20.0	-	30.0

回答者別にみると、『同居のご家族』では「チラシ（公共機関、店舗等）」が24.4%と『別居のご家族』に比べ15.3ポイント高くなっています。一方、『別居のご家族』では「市公式ホームページ」が『同居のご家族』に比べ14.0ポイント高くなっています。

【本人＋本人以外】

◆本人の性年代別／本人や家族へ届きやすいと考える情報提供の方法

問13 本人や家族へ届きやすいと思う情報提供の方法

	調査数	市広報誌	市公式ホームページ	チラシ（公共機関、店舗等）	市SNS	医療機関等への周知	民生委員等への周知	その他	無回答
全体	226 100.0	121 53.5	72 31.9	57 25.2	48 21.2	48 21.2	15 6.6	15 6.6	29 12.8
性年代（本人）									
男性15～19歳	10 100.0	6 60.0	3 30.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0	-	-	-
男性20～29歳	28 100.0	17 60.7	11 39.3	8 28.6	6 21.4	5 17.9	2 7.1	2 7.1	2 7.1
男性30～39歳	30 100.0	20 66.7	11 36.7	10 33.3	6 20.0	6 20.0	2 6.7	2 6.7	3 10.0
男性40～49歳	25 100.0	11 44.0	6 24.0	4 16.0	7 28.0	8 32.0	4 16.0	1 4.0	6 24.0
男性50～59歳	25 100.0	14 56.0	5 20.0	6 24.0	2 8.0	5 20.0	2 8.0	1 4.0	3 12.0
男性60～64歳	11 100.0	5 45.5	2 18.2	3 27.3	2 18.2	2 18.2	1 9.1	-	3 27.3
女性15～19歳	7 100.0	6 85.7	5 71.4	2 28.6	3 42.9	3 42.9	-	-	-
女性20～29歳	16 100.0	11 68.8	7 43.8	5 31.3	2 12.5	2 12.5	-	2 12.5	-
女性30～39歳	17 100.0	11 64.7	8 47.1	8 47.1	4 23.5	3 17.6	-	3 17.6	-
女性40～49歳	10 100.0	4 40.0	5 50.0	4 40.0	3 30.0	4 40.0	1 10.0	-	2 20.0
女性50～59歳	11 100.0	5 45.5	3 27.3	3 27.3	3 27.3	3 27.3	1 9.1	-	-
女性60～64歳	6 100.0	3 50.0	1 16.7	-	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-

1 番目に多い
2 番目に多い
3 番目に多い

実数部分はその他、無回答の人数を除いた全体の中で1～3番目に多いものに着色
%部分は各性年代にみた場合で1～3番目に多いものに着色

本人や家族へ届きやすいと思う情報提供の方法について、本人の性年代別にみると、『女性40～49歳』を除き、「市広報誌」が最も回答割合が高くなっています。『女性40～49歳』では「市公式ホームページ」が回答割合が高くなっています。また、男女ともに20～39歳を除く年代で「医療機関等への周知」が2番目か3番目に回答割合が高くなっています。

【本人＋本人以外】

◆本人の性年代別／ひきこもり期間別／本人や家族へ届きやすいと考える情報提供の方法

問13 本人や家族へ届きやすいと思う情報提供の方法

	調査数	市広報誌	市SNS	市公式ホームページ	チラシ（公共機関、店舗等）	民生委員等への周知	医療機関等への周知	その他	無回答
全体	226	121	48	72	57	15	48	15	29
	100.0	53.5	21.2	31.9	25.2	6.6	21.2	6.6	12.8

問5 ひきこもり期間

男性15～19歳

6か月～1年未満	2	2	-	-	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-
1～2年	4	2	2	1	1	-	1	-	-
	100.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-
3～5年	3	1	2	1	1	-	2	-	-
	100.0	33.3	66.7	33.3	33.3	-	66.7	-	-
6～9年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～20年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21年以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-

男性20～29歳

6か月～1年未満	1	1	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
1～2年	6	5	-	4	3	-	2	-	-
	100.0	83.3	-	66.7	50.0	-	33.3	-	-
3～5年	9	6	4	4	3	1	2	1	-
	100.0	66.7	44.4	44.4	33.3	11.1	22.2	11.1	-
6～9年	5	3	1	1	1	-	-	-	2
	100.0	60.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	40.0
10～20年	7	2	1	1	1	1	1	1	-
	100.0	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	-
21年以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-

男性30～39歳

6か月～1年未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1～2年	3	2	-	1	-	-	-	-	1
	100.0	66.7	-	33.3	-	-	-	-	33.3
3～5年	3	2	-	2	-	-	1	1	-
	100.0	66.7	-	66.7	-	-	33.3	33.3	-
6～9年	6	5	1	2	2	-	-	-	1
	100.0	83.3	16.7	33.3	33.3	-	-	-	16.7
10～20年	13	9	3	4	5	2	5	-	1
	100.0	69.2	23.1	30.8	38.5	15.4	38.5	-	7.7
21年以上	4	1	2	2	2	-	-	1	-
	100.0	25.0	50.0	50.0	50.0	-	-	25.0	-

男性40～49歳

6か月～1年未満	1	1	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
1～2年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3～5年	3	2	3	3	1	-	1	-	-
	100.0	66.7	100.0	100.0	33.3	-	33.3	-	-
6～9年	4	2	1	1	2	1	1	-	2
	100.0	50.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	50.0
10～20年	4	3	1	1	-	1	1	-	-
	100.0	75.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-
21年以上	12	2	2	1	1	2	4	1	4
	100.0	16.7	16.7	8.3	8.3	16.7	33.3	8.3	33.3

男性50～59歳

6か月～1年未満	6	4	1	1	2	1	1	-	-
	100.0	66.7	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-
1～2年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3～5年	4	2	-	2	1	-	-	1	-
	100.0	50.0	-	50.0	25.0	-	-	25.0	-
6～9年	1	-	-	-	-	1	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
10～20年	6	5	-	1	1	-	1	-	1
	100.0	83.3	-	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7
21年以上	8	3	1	1	2	-	2	-	2
	100.0	37.5	12.5	12.5	25.0	-	25.0	-	25.0

男性60～64歳

6か月～1年未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1～2年	2	1	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
3～5年	4	2	1	1	3	1	2	-	1
	100.0	50.0	25.0	25.0	75.0	25.0	50.0	-	25.0
6～9年	3	1	-	-	-	-	-	-	2
	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7
10～20年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21年以上	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-

問13 本人や家族へ届きやすいと思う情報提供の方法

	調査数	市広報誌	市SNS	市公式ホームページ	チラシ（公共機関、店舗等）	民生委員等への周知	医療機関等への周知	その他	無回答
全体	226	121	48	72	57	15	48	15	29
	100.0	53.5	21.2	31.9	25.2	6.6	21.2	6.6	12.8

問5 ひきこもり期間

女性15～19歳

6か月～1年未満	2	2	-	2	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-
1～2年	2	2	1	1	1	-	2	-	-
	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	-	100.0	-	-
3～5年	2	1	1	2	-	-	1	-	-
	100.0	50.0	50.0	100.0	-	-	50.0	-	-
6～9年	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
10～20年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21年以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-

女性20～29歳

6か月～1年未満	3	2	-	1	1	-	1	-	-
	100.0	66.7	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-
1～2年	2	2	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-
3～5年	4	3	1	3	2	-	1	-	-
	100.0	75.0	25.0	75.0	50.0	-	25.0	-	-
6～9年	3	1	1	1	1	-	-	1	-
	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-
10～20年	4	3	-	1	1	-	-	1	-
	100.0	75.0	-	25.0	25.0	-	-	25.0	-
21年以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-

女性30～39歳

6か月～1年未満	2	1	-	2	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	-	100.0	-	-	-	-	-
1～2年	2	2	-	-	2	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-
3～5年	5	2	2	2	2	-	1	2	-
	100.0	40.0	40.0	40.0	40.0	-	20.0	40.0	-
6～9年	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
10～20年	7	5	2	4	4	-	2	1	-
	100.0	71.4	28.6	57.1	57.1	-	28.6	14.3	-
21年以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-

女性40～49歳

6か月～1年未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1～2年	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0
3～5年	3	1	1	2	1	-	1	-	-
	100.0	33.3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	-
6～9年	1	1	1	1	-	-	1	-	-
	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-
10～20年	2	1	1	2	2	-	1	-	-
	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	-	50.0	-	-
21年以上	3	1	-	-	1	1	1	-	1
	100.0	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3

女性50～59歳

6か月～1年未満	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
1～2年	4	2	2	1	1	1	2	-	-
	100.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	-	-
3～5年	1	1	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
6～9年	2	1	-	1	1	-	-	-	-
	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-
10～20年	1	-	-	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-
21年以上	2	1	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-

女性60～64歳

6か月～1年未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1～2年	3	1	-	1	-	1	1	-	-
	100.0	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-
3～5年	2	1	-	-	-	-	-	1	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
6～9年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～20年	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
21年以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1 番目に多い
2 番目に多い
3 番目に多い

実数部分はその他、無回答の人数を除いた全体の中で1～3番目に多いものに着色
%部分は各ひきこもり期間ごとにみた場合で1～3番目に多いものに着色

本人や家族へ届きやすいと思う情報提供の方法について、ひきこもり期間別に本人男性 40～49 歳の結果をみると、ひきこもり期間が『21 年以上』の「医療機関等への周知」、本人男性 60～64 歳の結果をみると、ひきこもり期間が『3～5 年』の「チラシ（公共機関、店舗等）」、女性 40～49 歳の結果をみると、『21 年以上』を除く期間で「市公式ホームページ」が最も回答人数が多くなっています。

5-4 ひきこもり支援に関する意見

Q14 その他、ひきこもり支援に関するご意見を自由にご記入ください（自由記載）

【本人】

- ・原因がひとつの場合は少なく、複数の複合型である場合が多いので、総合的で柔軟な個別対応で、少し手を差し伸べる程度ではなく、継続的な支援が必要。（男性／30代）
 - ・外出できる機会、興味を持てることが見つかると思います。（男性／50代）
 - ・社会に対してひきこもりの存在を知らせて、社会的つながりを作り、本人の話を聞いて社会復帰を支援するといった一連のシステムが必要であると感じています。（男性／40代）
 - ・自分の収入がないので、面倒を見てもらっているという理由で色々と我慢しなければならないことがあるのがとてもストレスになっている。（女性／40代）
 - ・基本的に外に出たくないのに完全に引きこもれず余計にストレスをためるパターンもある。外に出たくないが、子どもの学校や習い事等で外に出なくてははいけない。（女性／30代）
 - ・そもそもどこにどのような相談をすれば良いのか分からない。自力で調べるのは苦痛を伴うので難しいところもあります。普通の人には理解できないでしょうけれど、現状に向き合うということは、過去と未来の全てと一度に戦うようなものです。コスト面で難しいかもしれませんが、もし可能なら、TVやネットや動画配信サイトでの広告等なら、機会が増えるようにも思えます。（男性／30代）
- など

※回答者数：12人（「特になし」などの回答は除く）

【本人以外】(): 本人以外の回答者の性／年代、[]: 本人の性／年代

- ・ 本人と今まで何回も話したが、本人がその気にならないと何もかわらないと思う(女性／60代)[男性／30代]
- ・ 行政の方やカウンセラーは、具体的なアドバイスをしてくれない。差し障りのない事しか言わないので相談しても…と思ってしまう。(女性／40代)[女性／20代]
- ・ 家庭内のことは家庭内でするしかないと思い、外部に相談するという考えに至らなかった。相談窓口があることをもっと伝えてほしい。(女性／30代)[男性／30代]
- ・ 年老いた両親がビクビク怯えて暮しているのでどうにもできない。電話も本人にばれないようにしている。(女性／50代)[女性／60代]
- ・ 息子と同じような友達を作りたい。(女性／65歳以上)[男性／50代]
- ・ 1回の相談のみではなく継続的な支援(性別回答拒否／50代)[男性／10代]
- ・ 本人がひきこもっている間、ずっとSNS等を見ていて、見ることによってさらに状況が悪化します。この悪循環をなんとか出来ないかと思います。中学校でのいじめによって全てが急変し親として本当に残念でなりません。いじめに関して対応してもらえたらと悔やまれます。(性／年代不詳)[女性／10代]
- ・ 体調に合わせて働ける場所や資格取得の支援などがあれば、本人も家庭以外の居場所もできて自分に自信がつくのではないかと思います。(女性／50代)[男性／20代]
- ・ ひきこもらざるをえなかった人への、社会生活復帰への相談機関がほしいです。また、ひきこもりを支える家族への支援も必要。支える側は平日は仕事で相談に行きたくても行けません。本人は、「ひきこもり」「不登校」という言葉にナーバスだと思います。(女性／40代)[男性／40代]
- ・ いろいろ医療機関や学校やソーシャルワーカーさんなど関わるようにしてきました。もちろん話を聞いて頂くだけでもありがたいと思いますが、一番は同じ境遇で悩んでいるお母さんお父さん方と語り合う会に参加したことが私は良かったなと思いました。自分だけじゃないと共感できることで、心が軽くなりました。親が重く受け止めすぎないこと、親は自分を責めたりしないで自分自身にご機嫌になるような楽しみを見つけること。親の表情に比例して子どもも元気になっていくような気がします。(女性／50代)[男性／10代]
- ・ 他人に知られたくないの思いがあり市の相談も抵抗感がある。反面、社会的にオープンになるとよいと思う。いらぬ詮索をされたくないのが本音。親がいなくなってもちゃんと社会の中で生きて行けるようになって欲しい。(女性／65歳以上)[女性／30代]
- ・ 強制的に引っ越しをさせたいが、経済力などもないため、行政で一時的な仮住まいなどを用意して貰いたいのが本音です。その後、家族抜きで本人に直接カウンセリングや就労支援を行えるようになったら有り難い。(女性／40代)[男性／50代]

など

※回答者数：46人(「特にない」などの回答は除く)

IV 使用した調査票

富谷市からのアンケート協力をお願い

ひきこもりに関する生活状況アンケート

ひきこもり状態※にある方は全国で推計約 146 万人いるとされ、誰にでも起こり得るものです。ひきこもりの理由はひと言では言い表せず、常日頃から周りのサポートや理解を含め、社会全体として当事者一人ひとりに寄り添った支援が必要です。

本アンケートは、富谷市においてひきこもりの悩みを抱えている方の支援について検討するにあたり、ひきこもりの状態にあるご本人やご家族等の皆様を対象に行うものです。今後のひきこもり支援の参考とさせていただくため、ぜひご協力をお願いいたします。

※ひきこもり状態とは…仕事や学校にいかず、かつ家族以外の方との交流をほとんどせずに6か月以上続けて家庭にとどまっている状態をいいます。

富谷市長 若生裕俊

アンケートの対象者について

- 市内在住の 15～64 歳の方でひきこもり状態にあるご本人またはご家族

注意：このアンケートは富谷市の全世帯(令和6年7月10日現在)へ配布しております。

ひきこもり状態にある方がいない場合でも、ご回答いただきたい質問項目がございますので皆様ご確認ください。

回答方法について

- 回答はどなたがご記入いただいても構いません。
- 答えにくい質問には、無理に答えていただくなくても構いません。

1 パソコン・スマートフォン等によりインターネットで回答

- 右の二次元バーコードを読み込んで、回答フォームに入力してください。

※回答には、返信用はがき裏面下部の回答用番号の入力も必要になります。

(URL: https://src2.webcas.net/form/pub/src1/tomiya_hikikomori)



インターネット
での回答が
便利です！

2 返信用はがきで回答

- インターネット環境がない方は、本アンケートの返信用はがきを切り取ってご回答ください。

回答期限：令和6年9月30日(月)まで



富谷市
TOMIYA CITY

～住みたくなるまち日本一を目指して～

個人情報の管理について

- ・ご回答内容は、本アンケートの利用目的以外には使用しません。
- ・調査結果は個人が特定されない形で集計し、公表することがあります。
- ・本アンケートは富谷市が調査を委託する㈱サーベイリサーチセンター東北事務所が集計を行います。

Q0. ひきこもり状態にある方はいますか

- ①はい※→Q1へ ②いいえ →回答は終了です。
 ※¹対象となるのは市内在住の15～64歳の方になります
 ※²ひきこもりの方が世帯に複数いる場合、うち一人についてご回答ください。

【以降、Q0で①と回答した方のみお答えください】

Q1. ひきこもり状態にある方（ご本人）の年齢について

- ①15～19歳 ②20～29歳
 ③30～39歳 ④40～49歳
 ⑤50～59歳 ⑥60～64歳

Q1-1. ご本人の性別について

- ①男性 ②女性 ③答えたくない

Q1-2. ご本人がお住まいの地区をご記入ください

（例：明石台、成田など）

Q2. 本アンケートの回答者はどなたですか

- ①ひきこもり状態にある方（ご本人）→Q4へ
 ②同居のご家族 →Q3へ
 ③別居のご家族 →Q3へ
 ④その他 →Q4へ

【Q2で②または③と回答した方のみお答えください】

→Q3. 回答者（ご家族）の年齢について

- ①15～19歳 ②20～29歳
 ③30～39歳 ④40～49歳
 ⑤50～59歳 ⑥60～64歳
 ⑦65歳以上

Q3-1. 回答者（ご家族）の性別について

- ①男性 ②女性 ③答えたくない

【再びすべての方にお伺いします】

Q4. ご本人はご家族と同居していますか（複数回答可）

- ①ひとり暮らし ②親（父・母） ③配偶者（パートナー）
 ④兄弟姉妹 ⑤祖父母 ⑥親戚 ⑦子ども ⑧その他

Q5. 現在の状態になられてから、どのくらい経っていますか

- ①6か月～1年未満 ②1～2年 ③3～5年
 ④6～9年 ⑤10～20年 ⑥21年以上

Q6. 現在の状態になったきっかけは何ですか（複数回答可）

- ①不登校（小学校・中学校） ②不登校（高校）
 ③大学や専門学校でのつまずき ④受験の失敗
 ⑤就職の失敗 ⑥職場でのトラブルや
 馴染めなかった
 ⑦失業・退職 ⑧けがや病気
 ⑨メンタルヘルス不調 ⑩身体的な不調、障害
 ⑪交際関係（友人・パートナー等）
 のトラブル ⑫家庭でのトラブル
 （家族関係、離婚等）
 ⑬転居 ⑭震災の影響
 ⑮感染症の影響 ⑯わからない
 ⑰その他（ ）

Q7. ご本人の外出状況に一番近いものを1つ選んでください

- ①近所のコンビニなどには出かける →Q7-1へ
 ②趣味の用事ときだけ外出する →Q7-1へ
 ③自室からは出るが、家からは出ない →Q8へ
 ④自室からほとんど出ない →Q8へ
 ⑤わからない →Q8へ

【Q7で①または②と回答した方のみお答えください】

→Q7-1. 外出の頻度について一番近いものを1つ選んでください

頻度	誰と	一人で	家族と	友人と
毎日		①	②	③
週1回以上		④	⑤	⑥
月1～2回		⑦	⑧	⑨
2～3ヶ月に1回		⑩	⑪	⑫

Q7-2. 一日の中で外出しやすい時間帯はありますか

- ①朝 ②午前中 ③午後 ④夕方以降 ⑤特に時間帯は問わない

【再びすべての方にお伺いします】

Q8. ご本人が、家族や親しい方とのコミュニケーションをとる際の一番近い状況を1つ選んでください

- ①会話が自由にできる
 ②用件のみ口頭で伝える
 ③メールや文言でやりとりする
 ④一切コミュニケーションをとらない

Q9. ご本人やその家族の現在の不安や困りごとは何ですか（複数回答可）

- ①親族の高齢化（親亡き後の生活）
 ②収入がない
 ③社会との接点がないこと
 ④家庭内暴力が心配
 ⑤就労先がない
 ⑥受診などが必要だがうまくいかない
 ⑦本人にどのように関わったらよいか（接し方）わからない
 ⑧自分の将来への不安
 ⑨家族とのコミュニケーションが苦痛
 ⑩わからない
 ⑪その他（ ）

Q10. 現在、ご本人またはご家族の方は相談機関に相談をしていますか

- ①している（または、過去に相談したことがある）→Q10-1へ
 ②していないが、してみたいと思っている →Q10-2へ
 ③していないし、したくない →Q10-3へ
 ④わからない →Q11へ

【Q10.で①と回答した方のみお答えください】

Q10-1. どのようなところで相談をしていましたか
(複数回答可)

- ① 富谷市の機関 (市役所等の窓口、保健師など)
- ② 県の機関 (精神保健福祉センター、保健所など)
- ③ 教育機関 (学校など)
- ④ 医療機関 (病院など)
- ⑤ 自立相談支援センター
- ⑥ 民生委員・児童委員
- ⑦ NPOなどの支援機関
- ⑧ 就労支援機関 (ハローワーク、サポートステーションなど)
- ⑨ その他 ()

【Q10.で②と回答した方のみお答えください】

Q10-2. 相談したい (支援してもらいたい) 内容をお聞かせください (自由記載)

【Q10.で③と回答した方のみお答えください】

Q10-3. その理由をお聞かせください (複数回答可)

- ① 人と関わりたくない
- ② 外出が不安
- ③ 相談先・手続きがわからない
- ④ 周囲に知られたくない
- ⑤ 相談しても変わらないと思っている
- ⑥ 家庭内で対処できる
- ⑦ アクションを起こし、刺激をすることでの反動が心配
- ⑧ その他 ()

【再びすべての方にお伺いします】

Q11. どのようなサポートがあると良いと考えますか
(複数回答可)

- ① 気軽に相談できる窓口
- ② 悩みを話し合い、集える場所
- ③ 社会体験の場
- ④ 自宅への訪問支援
- ⑤ 医療機関の紹介
- ⑥ 福祉サービスの申請支援
- ⑦ 家計管理・改善支援
- ⑧ 仕事探しの支援
- ⑨ 学習の支援
- ⑩ 専門家によるカウンセリング
- ⑪ 家事・子育て・介護の支援
- ⑫ 健康づくり・体調管理の支援
- ⑬ SNSやネット上等での匿名相談
- ⑭ 地域での見守り
- ⑮ ひきこもりについて学べる機会
- ⑯ 何も必要ない (今のままでよい)

Q12. 富谷市がひきこもり相談窓口を設置していることや、
医師相談会、訪問等による個別支援を実施している
ことを知っていますか

- ① はい
- ② いいえ

インターネットでの回答の場合は、
はがきの回答用番号を入力ください
※重複回答を防ぐための番号です。個人を
特定する番号ではありません

Q13. 相談支援に関する情報提供をする場合、どのよ
うな形だとご本人やその家族へ届きやすいと
思いますか (複数回答可)

- ① 市広報誌
- ② 市 SNS
- ③ 市公式ホームページ
- ④ チラシ (公共機関、店舗等)
- ⑤ 民生委員等への周知
- ⑥ 医療機関等への周知
- ⑦ その他 ()

Q14. その他、ひきこもり支援に関するご意見を
自由にご記入ください (自由記載)

記入例

良い例

● ② ③

濃く塗りつぶし

悪い例

① ② ③

点で記入

① ② ③

線で記入

① ② ③

薄い色で記入

ひきこもりに関する生活状況アンケート 回答票

※選択肢の番号を鉛筆で塗りつぶしてください。

Q0 ① ② (②の方は回答終了です) Q1 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

Q1-1 ① ② ③ Q1-2 ()

Q2 ① ② ③ ④

【ご家族が回答の場合 (Q2で②または③)】

Q3 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ Q3-1 ① ② ③

Q4 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ Q5 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

Q6 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ()

Q7 ① ② ③ ④ ⑤

【Q7で①または②を選択した方】

Q7-1 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

Q7-2 ① ② ③ ④ ⑤

Q8 ① ② ③ ④

Q9 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ()

Q10 ① ② ③ ④

【Q10で①の方】 Q10-1 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ()

【Q10で②の方】 Q10-2 以下の枠内にご記入ください

【Q10で③の方】 Q10-3 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ()

Q11 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯

Q12 ① ② Q13 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ()

Q14 以下の枠内にご記入ください

Q10-2で相談したい (してもらいたい) 内容について支援情報
などの情報提供を希望する場合は下記に連絡先をご記入ください。
後日、郵送による通知または電話にて対応させていただきます。

氏 名:

住 所:

連絡先:

<ひきこもりに関する相談窓口について>

富谷市では、ひきこもり支援に向けて関係機関と協働し取り組んでおります。
二次元バーコードのリンク先に支援機関や支援内容を記載しておりますので、
お気軽にお問い合わせください。



<富谷市支援機関一覧>

調査に関する問い合わせ

調査に関する問い合わせ先：（調査業務委託先）株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所
電 話：022-225-3734（平日 10 時～17 時（12 時～13 時を除く））
メール：tomiya_hikikomori@surece.co.jp
※メールでのお問い合わせに関しては、上記期間内は 24 時間いつでも受け付けています。

郵便はがき

料金受取人払郵便



差出有効期間
令和 6 年 10 月
31 日まで
（切手不要）

981-3390

富谷市富谷坂松田 3 0
富谷市役所
保健福祉部地域福祉課 行

・ 個人情報を記載した場合、支援情報の送付や個別相談の案内のために個人情報を提供することに同意したものとみなします。
・ 本アンケートは富谷市が調査を委託する(株)サーベイリサーチセンター東北事務所が集計を行います。



本アンケートは内閣府の地域就職氷河期世代
加速化交付金を活用し、実施しております。

富谷市ひきこもりに関する生活状況アンケート 調査結果報告書

令和7年2月発行

富谷市 保健福祉部 地域福祉課

電話 022-358-3294

〒981-3392 富谷市富谷坂松田30番地

アドバイザー

尚絅学院大学 心理教育学群 心理学類 准教授 内田 知宏

尚絅学院大学 心理教育学群 心理学類 講 師 一條 玲香